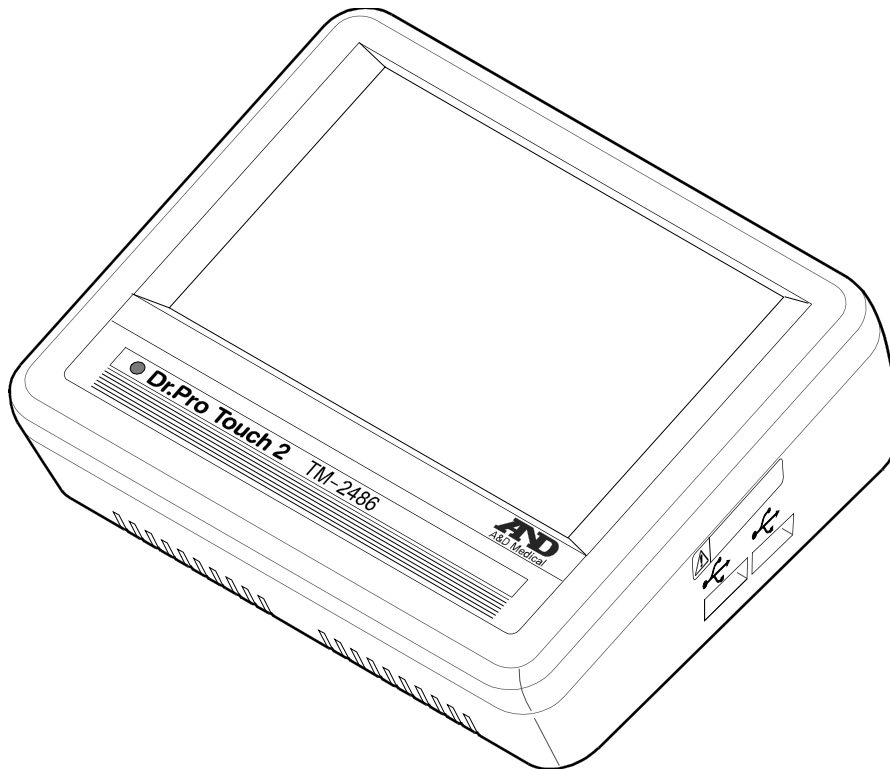


TM-2486

解析ターミナル

## 取扱説明書

# Dr.Pro Touch 2



## ご注意

- (1) この取扱説明書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。株式会社エー・アンド・デイの書面による許可なく、複製・改変・翻訳を行うことはできません。本書の内容の一部、または全部の無断複製は禁止されています。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) (株)エー・アンド・デイでは、本機の運用を理由とする損失、逸失利益及び、本製品の欠陥により発生する直接、間接、特別または、必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性がある旨と告知された場合でも、一切の責任を負いません。また、第三者からなされる権利の主張に対する責任も負いません。同時にデータの損失の責任を一切負いません。(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねます。

© 2019 株式会社 エー・アンド・デイ  
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。




本書に記載されている商品名及び社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）の Mini Wnn を使用しています。




## 注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号を表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

### 警告サインの意味

 <b>危険</b>	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
 <b>警告</b>	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

### 図記号の意味

	△記号は「注意（警告を含む）」を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が記されています。
	⊘記号は「してはいけないこと（禁止）」を示しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「分解禁止」を示します。
	●記号は「必ず守っていただきたいこと（強制）」を示しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。

### その他


<b>お知らせ</b>	本製品を操作するのに役立つ情報です。
-------------	--------------------


この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

## 使用上（安全および危険防止）の注意事項




TM-2486 解析ターミナル（以下、本製品）を正しく安全にお使いいただくために、以下の注意事項を熟読された上でお取り扱いください。この注意事項は、本製品の安全な取り扱いの他、被験者および操作者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。本製品特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。

### 1. 本製品の設置場所および保管場所は、次の点に注意してください。



<b>⚠ 危険</b>	
	□ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高压酸素室、酸素テント内に本製品を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

<b>⚠ 注意</b>	
	下記の使用環境、保管場所でご使用ください。 □ 水のかからない場所。 □ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気さらされない場所。 □ 振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。 □ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 □ 設置：温度+10 ~ +40 °C、湿度 30 ~ 85 %RH（結露なきこと）の場所。 □ 保管：温度-20 ~ +60 °C、湿度 10 ~ 95 %RH（結露なきこと）の場所。 □ 本製品の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。

## 2. 本製品を使用する前に次の点を確認してください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 本製品が安全かつ正確に動作すること。</li><li>□ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。</li><li>□ 付属されている専用の AC アダプタを使用すること。</li><li>□ 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。</li><li>□ 付属品やオプション品に添付された取扱説明書も熟読してから使用すること。 本書にはそれらの注意事項は記載していません。</li><li>□ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。</li><li>□ 本製品に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 通信ケーブルコネクタに指定の血圧計以外は接続しないこと。</li><li>□ AC アダプタの抜き差しが阻害される場所で本製品を使用しないこと。</li></ul>



## 3. 本製品の使用中は次の点に注意してください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 患者環境下では使用しないこと。</li><li>□ 強磁界および強電界中では使用しないこと。 誘導起電力による局部的発熱、誤動作または、破損の恐れがあります。</li><li>□ 周辺で携帯電話を使用しないこと。誤動作の原因になります。</li><li>□ 血圧計が本製品に接続されている場合、血圧計のカフを患者に装着しないでください。</li></ul>



### お知らせ

- TM-244 シリーズの操作方法及び注意事項に関しては、TM-244 シリーズに付属している取扱説明書をご一読ください。




## 4. 本製品の使用後は次の点を確認してください。



 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。</li><li>□ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。</li><li>□ 本製品は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。</li></ul>

## 5. 本製品が異常と思われたときは、次の処置をしてください。



 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 本製品の動作を止め、電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜くこと。</li><li>□ 本製品に、「故障」「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社 ME 機器相談センターまでご連絡ください。</li></ul>

## 6. 保守点検については次の点に注意してください。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>□ お手入れの際は、感電防止のため、本製品の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。</li><li>□ しばらく使用しなかった本製品を再使用するときは、使用前に必ず本製品が正常にかつ安全に動作することを確認すること。</li><li>□ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 本製品の分解、および改造はしないでください。火災・感電の原因になります。</li></ul>

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 手入れの際は乾燥した柔らかい布を使用すること。シンナー、ベンジン等揮発性の液体やぬれ雑巾等は使用しないこと。</li></ul>

## 7. 強い電磁波により誤動作を起こすことがありますので注意してください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 本製品は、周囲に強い電磁波などが存在すると、誤動作を起こすことがあります。本製品の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。</li></ul> <p>次に一般的な原因と対策の一例をあげます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>□ 携帯電話等の使用 電波によって予期せぬ誤動作をする可能性があります。<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本製品を設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器などの電源を切るよう指導する。</li></ul></li><li>□ 電源コンセントを伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合<ul style="list-style-type: none"><li>■ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置などにより対策する。</li><li>■ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。</li><li>■ 他の電源コンセントから電源を取る。</li></ul></li><li>□ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電）<ul style="list-style-type: none"><li>■ 装置を使用する前に、測定者、被験者とも十分に放電を行う。</li><li>■ 部屋を加湿する。</li></ul></li><li>□ 落雷などによる影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で本製品を動作させてください。<ul style="list-style-type: none"><li>■ 無停電電源装置（JIS T0601-1 を満足している機種）を使用する。</li></ul></li></ul>

# 開梱

## ⚠️ 注意



- 本製品は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

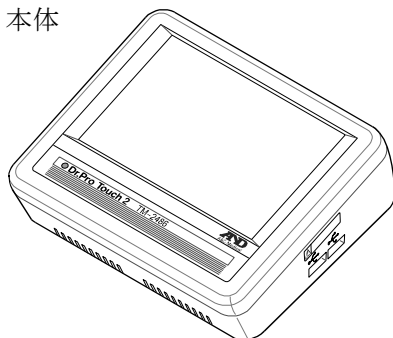
## お知らせ

- 本製品は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店に連絡してください。なお、将来本製品を輸送する場合は梱包材を保管しておいてください。

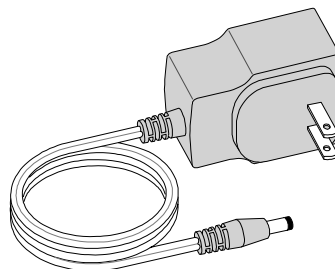
ご使用前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。万一、内容物に不足がございました場合には、お買い求め頂いた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。オプション品は「16. オプション」を参照してください。

本体 .....			1 台
標準付属品	AC アダプタ	型名 : AX-TB252 .....	1 個
	USB フラッシュメモリ	専用フォーマット済み .....	1 個
	傾斜台	型名 : 1094000833 .....	1 台
	□ 傾斜台本体 .....		1 個
	□ 取り付けネジ .....		2 個
	取扱説明書 (本書) .....		1 冊
	保証書 .....		1 枚

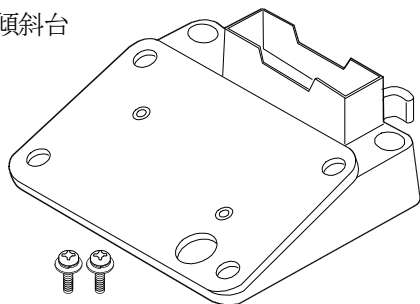
本体



AC アダプタ



傾斜台



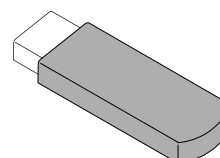
取扱説明書



保証書



USB メモリ



# 目次

1.	はじめに.....	3
2.	特長.....	3
3.	略語・記号の解説.....	3
4.	仕様.....	4
4.1.	外形図.....	5
4.2.	接続可能な血圧計.....	6
5.	各部の名称.....	7
5.1.	上面図.....	7
5.2.	背面図.....	7
5.3.	側面図.....	8
5.4.	傾斜台.....	8
6.	使用前の準備.....	9
6.1.	本体の設置.....	9
6.2.	傾斜台取り付け.....	9
6.3.	電源の接続.....	9
6.4.	血圧計の接続.....	10
6.4.1.	USB 仕様の場合.....	10
6.5.	USB メモリの接続.....	10
6.6.	始業前点検.....	11
6.6.1.	はじめに.....	11
6.6.2.	電源投入前.....	11
6.6.3.	電源投入後.....	11
7.	画面と操作.....	12
7.1.	画面表示概要.....	12
7.1.1.	画面共通.....	12
7.1.2.	USB メモリの安全な取り外し.....	14
7.2.	ホーム画面.....	15
7.3.	かんたん解析.....	16
7.3.1.	通信の準備.....	16
7.3.2.	データ読込.....	18
7.3.3.	データ解析区間.....	19
7.3.4.	解析範囲.....	20
7.3.5.	リスト表示.....	21
7.3.6.	被験者情報.....	22
7.3.7.	レポート出力.....	23
7.4.	けんさの準備.....	26
7.4.1.	血圧計設定.....	26
7.4.2.	データクリア.....	30
7.4.3.	血圧計設定確認.....	31
7.4.4.	マニュアル設定確認.....	32
7.5.	詳細解析.....	33
7.5.1.	血圧計 [データの解析].....	34
7.5.2.	USB メモリ読取.....	34
7.5.3.	本体メモリ読取.....	34
7.6.	各種解析.....	35
7.6.1.	サマリー.....	36
7.6.2.	相関図.....	37
7.6.3.	HBI.....	37
7.6.4.	トレンド.....	38
7.6.5.	平均トレンド.....	39
7.6.6.	ヒストグラム.....	40
7.6.7.	サーカディアン.....	41
8.	設定.....	42
8.1.	しきい値設定.....	43
8.2.	起床就寝設定.....	43
8.3.	本体設定.....	44

8.4.	病院設定.....	45
8.5.	対象データ .....	46
8.6.	データ .....	46
8.7.	ファイル名.....	48
8.8.	読み込み設定 .....	49
9.	トリセツ.....	50
9.1.	取扱説明書ファイルのコピー .....	50
9.2.	スライドショー.....	51
10.	ダイアログ（英数字、全角入力および詳細設定画面） .....	52
10.1.	数値入力.....	52
10.2.	プルダウン選択.....	52
10.3.	ファイル選択 .....	53
10.4.	英数入力.....	53
10.5.	全角かな入力 .....	54
10.6.	TEL 入力 .....	55
11.	レポート出力 .....	56
11.1.	24 時間レポート .....	57
11.1.1.	出力例 24 時間レポート .....	57
11.2.	24 時間レポート拡大版 .....	58
11.2.1.	出力例 24 時間レポート拡大版.....	58
11.3.	簡易レポート .....	60
11.3.1.	出力例 簡易レポート .....	61
11.4.	フルレポート .....	62
11.4.1.	出力例 フルレポート .....	62
12.	使用后 .....	68
12.1.	電源の切断.....	68
12.2.	AC アダプタの取り外し .....	68
13.	困ったとき Q&A.....	68
13.1.	電源.....	68
13.2.	接続.....	68
13.3.	ファイルデータ.....	68
14.	保守.....	69
14.1.	点検と安全管理.....	69
14.2.	清掃.....	69
14.3.	修理を依頼される前に.....	69
14.4.	エラーメッセージ表 .....	70
14.5.	廃棄.....	71
15.	付属品 .....	71
16.	オプション .....	71
17.	アフターサービス・保証 .....	72
18.	保証期間.....	72
19.	免責事項.....	72
19.1.	製品に関するご質問・ご相談窓口.....	72
付録：	指針および製造業者の宣言.....	73



# 1. はじめに

このたびは、TM-2486 解析ターミナル（以下、**本製品**）をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品の接続、設定、ならびに、保守、仕様について記述したものです。本製品をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

# 2. 特長





本製品は、専用通信ケーブルにより、TM-244 シリーズ（携帯型自動血圧計）で測定された血圧値、リストデータ等をデータ化することが可能であり、以下の特長があります。

- 血圧計（TM-244 シリーズ）との通信。
- 血圧計（TM-244 シリーズ）の時計、測定スケジュールが設定できます。
- 血圧計（TM-244 シリーズ）の自己測定機能を設定できます。
- 血圧計（TM-244 シリーズ）のデータ処理機能。
  - 24 時間毎に血圧データ／脈拍データ／圧負荷データの統計処理結果 および、トレンドグラフをデータ化します。統計処理結果は、最高血圧／最低血圧／脈拍毎の平均値／標準偏差です。
  - 24 時間毎に活動量データ／気圧データ／温度データのトレンドグラフをデータ化します。
  - 圧負荷データ（PRESSURE LOAD）は、最高血圧／最低血圧のそれぞれについて、任意に設定した値を超えている面積を算出します。（単位 mmHg・h）
  - 統計処理を行う区分は 24 時間ブロックを基本にし、その中をインターバル・ブロックおよび任意に設定した起床時間帯／就寝時間帯の結果をデータ化します。

## 使用対象者

本製品の使用は、医療従事者を対象とします。

# 3. 略語・記号の解説

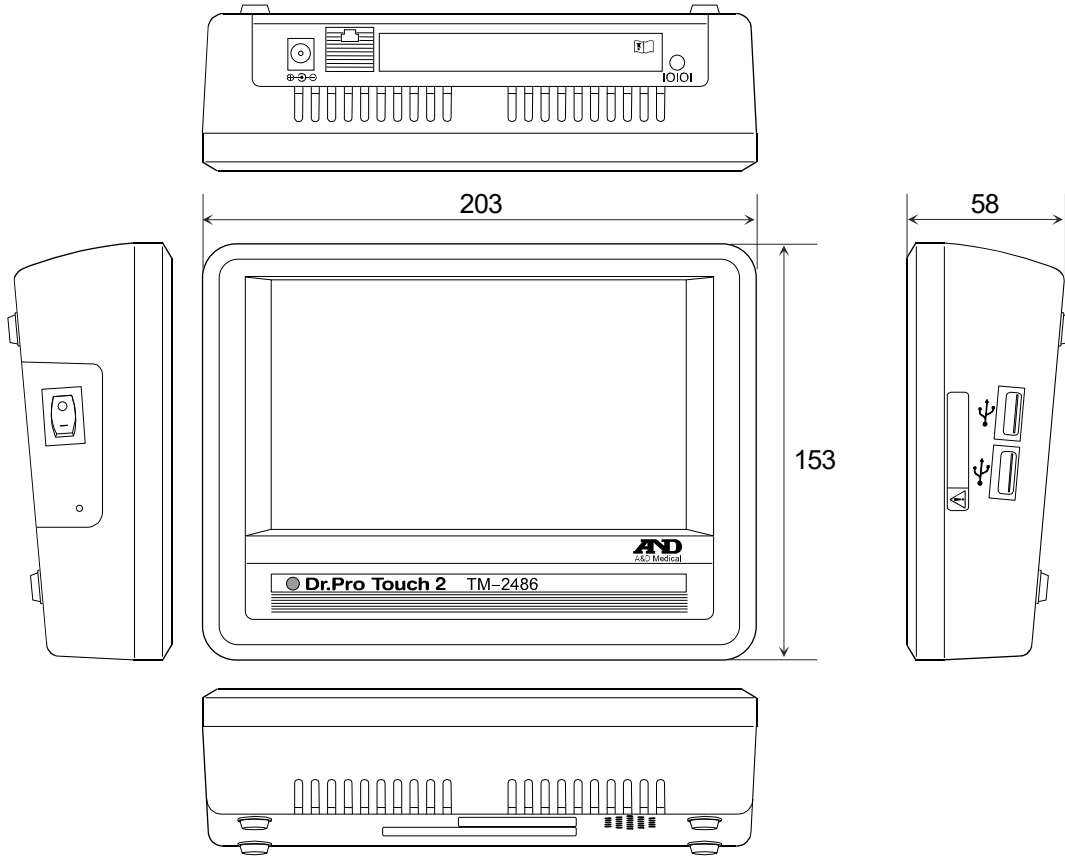
記号（シンボル）	解説
	注意記号：添付文書、取扱説明書を参照
	AC アダプタジャック極性表示（直流入出力：極性表示（統一形））
O/I	O：電源 OFF、 I：電源 ON
≡	直流
~	交流
	取扱説明書を参照してください。
	USB ポート
IOIOI	シリアルポート（本製品では使用しません）
SN.	製造番号

## 4. 仕様

項目	仕様
販売名	携帯型自動血圧計 TM-244 のオプション品
名称	解析ターミナル
品番	TM-2486
認証番号	229AHBZX00007000
外形寸法	203 mm (W) × 153 mm (D) × 58 mm (H) 突起部を除く
質量	約 1.0 kg
電源	本体 入力 : 12 V $\equiv$ 600 mA 専用 AC アダプタ 入力 : 100 V $\sim$ 50-60 Hz 15 VA 出力 : 12 V $\equiv$ 1 A
電撃に対する保護の形式による分類	クラス II 機器
表示	バックライト付き TFT カラー液晶表示 (7 インチサイズ、800×480 dot)
本体メモリ	約 500 データ (記録可能なデータ数は目安です。データ種類により変化します。) 本体メモリには血圧データのみ以下のファイル形式できます。 ① CSV ファイル : 数値データファイル ② EXC ファイル : データ削除理由を付加した CSV ファイル形式の数値データファイル ③ DAT ファイル : 解析ソフト「TM-2430-15」ファイル形式
USB メモリ出力ファイル	付属の USB メモリに各種ファイルを出力します。 ① CSV ファイル : 数値データファイル ② EXC ファイル : データ削除理由を付加した CSV ファイル形式の数値データファイル ③ DAT ファイル : 解析ソフト「TM-2430-15」ファイル形式 ④ 環境ファイル : env フォルダに、環境データ(温度、気圧)付き血圧値と活動量データの CSV ファイル形式 ⑤ PDF ファイル : 各種出力レポートのファイル形式
通信機能	シリアル通信 : EIA RS-232C 規格準拠 USB 通信 : USB 1.1 規格準拠
動作環境	温度 : +10 ~ +40 °C 湿度 : 30 ~ 85 %RH (結露なきこと)
輸送/保存環境	温度 : -20 ~ +60 °C 湿度 : 10 ~ 95 %RH (結露なきこと)
使用/保存 気圧範囲	700 ~ 1060 hPa
作動モード	非連続作動 : 最長作動時間及び最短休止時間に、特に指定は無い
電磁環境適合性 (EMD) 適合規格	本製品は、EMD 規格 (IEC60601-1-2 : 2014) に適合しています。
耐用期間	設置後 5 年。当社データによる自己認証。(正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。使用状況により差異が生じることがあります。)

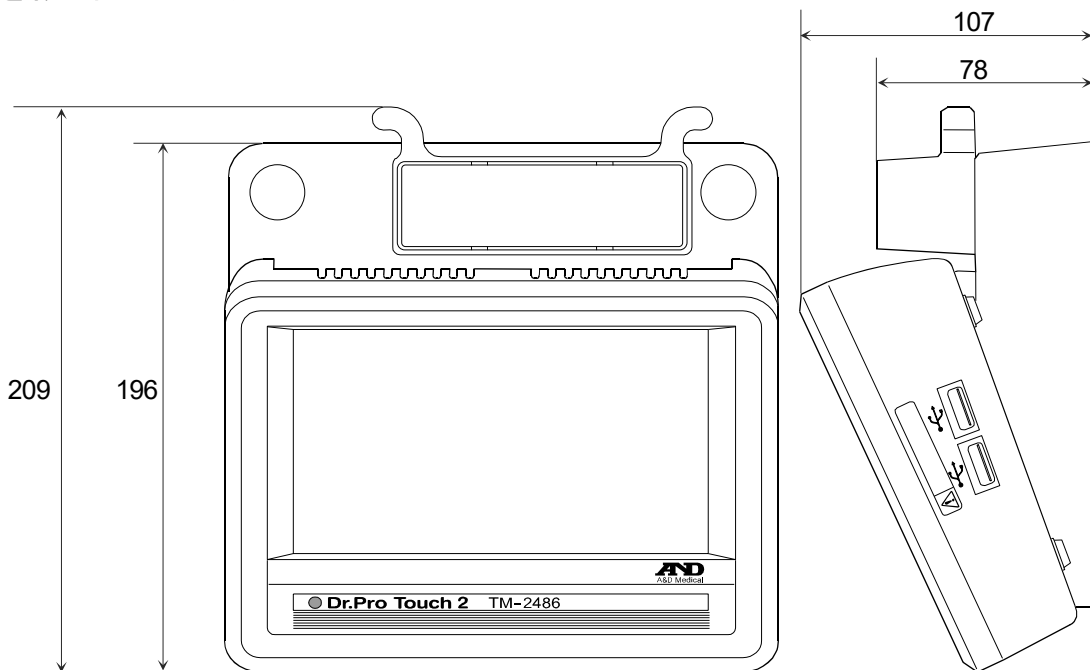
## 4.1. 外形図

### 本体



単位 : mm

### 本体を傾斜台に取り付けた状態



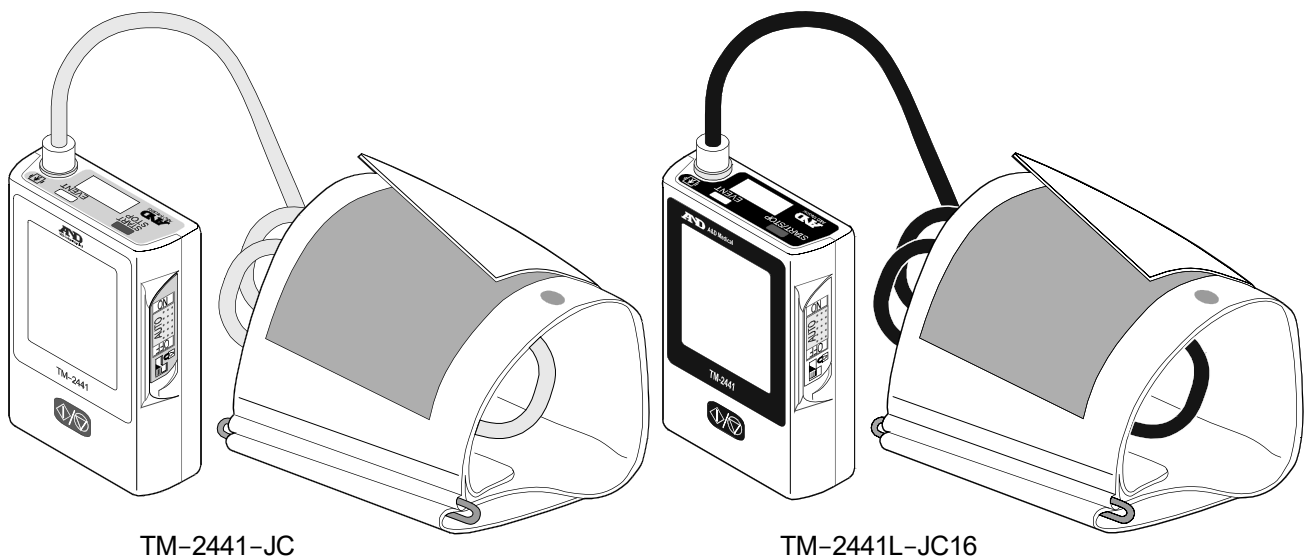
単位 : mm

## 4.2. 接続可能な血圧計

本製品は、携帯型自動血圧計 TM-244 シリーズと USB ケーブル (AX-KOUSB4C) で接続し、使用します。

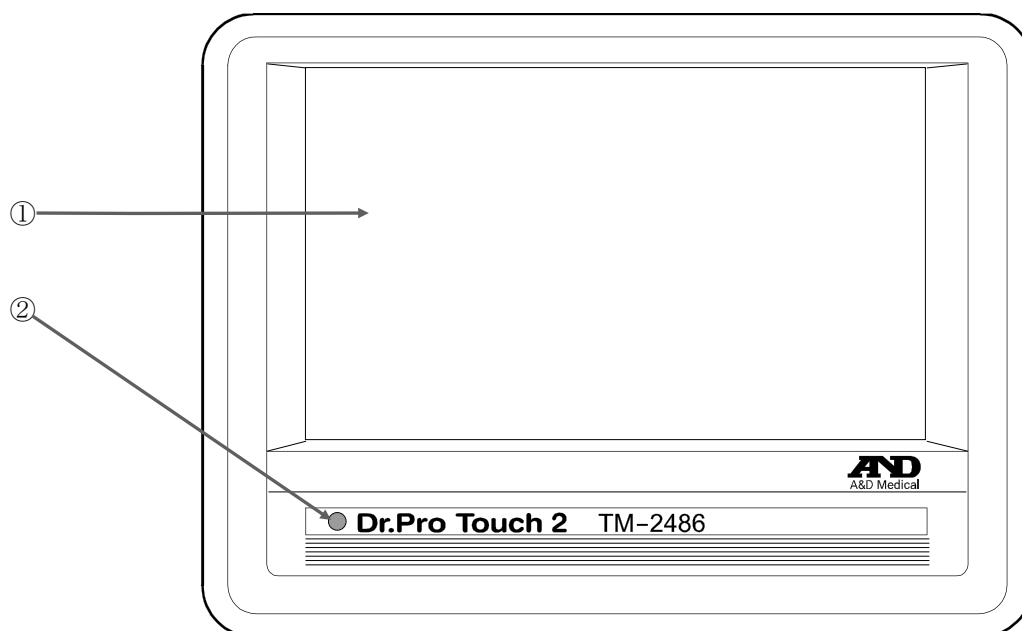
### TM-244 シリーズ (TM-2441-JC、TM-2441L-JC16)

- 血圧の治療や調査、研究などに有効な 24 時間の日常生活での血圧変動を測定、記憶します。
  - 環境センサー（活動度・温度・気圧）で血圧測定と同時にデータ収集が可能。
  - 液晶画面による自己血圧測定の確認が可能。
  - 170 g の軽量、手のひらサイズ。
- ※ 本製品には、上記以外の機器を接続しないこと。
- ※ TM-2441-JC は自動測定開始・終了日時に対応していません。



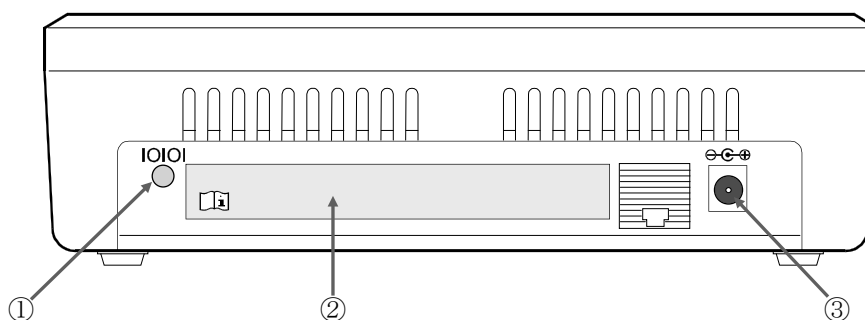
## 5. 各部の名称

### 5.1. 上面図



番号	名称	説明
①	タッチパネル表示部	解析操作の選択や解析結果を表示します。 タッチパネル液晶ディスプレイです。
②	電源ランプ	電源 ON 時 LED が点灯します。

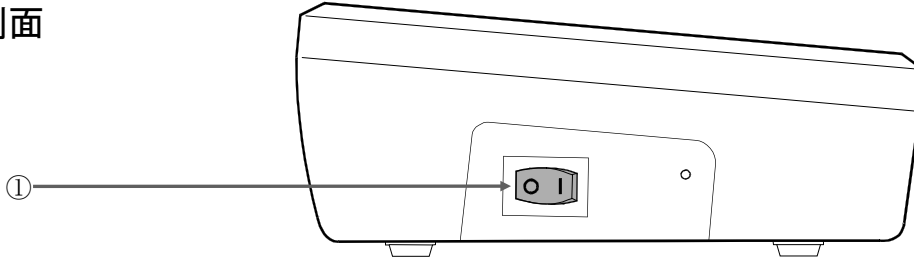
### 5.2. 背面図



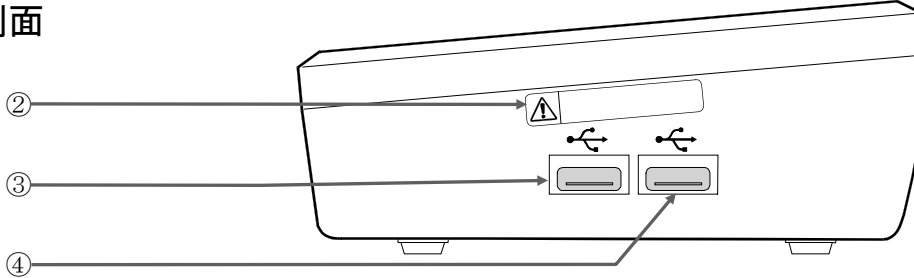
番号	名称	説明
①	通信ケーブルコネクタ	本製品では使用しません。
②	警告ラベル	製品使用上での注意点が記載されています。 警告ラベルが剥がれていた場合は、お買い求めて頂いた販売店または、弊社営業所までご連絡ください。
③	電源コネクタ	付属 AC アダプタの電源ケーブルを接続します。

## 5.3. 側面図

左側面

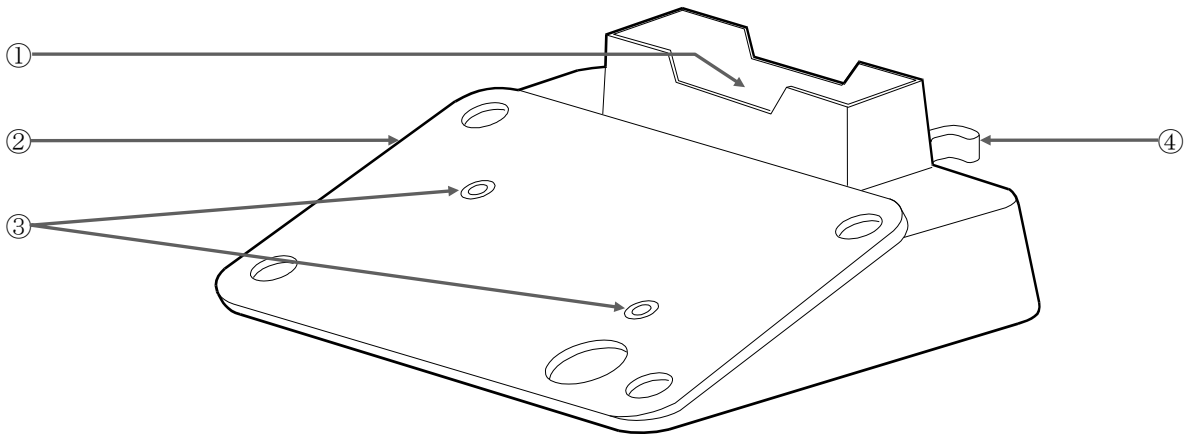


右側面



番号	名称	説明
①	電源スイッチ	電源の ON/OFF スイッチです。 ○ : 電源を OFF します。 I : 電源を ON します。
②	警告シール	本体内のデータ保存に対する注意が記載されています。
③	USB コネクタ 1	血圧計を接続する USB ケーブルや USB メモリを接続します。
④	USB コネクタ 2	血圧計を接続する USB ケーブルや USB メモリを接続します。

## 5.4. 傾斜台



番号	名称	説明
①	TM-244 シリーズ設置場所	TM-244 シリーズの設置場所です。
②	筐体取り付け面	TM-2486 の取り付け面です。
③	取り付けネジ穴	TM-2486 を取り付ける際のネジ穴です。
④	ケーブルフック	ケーブル類巻き付け用フックです。

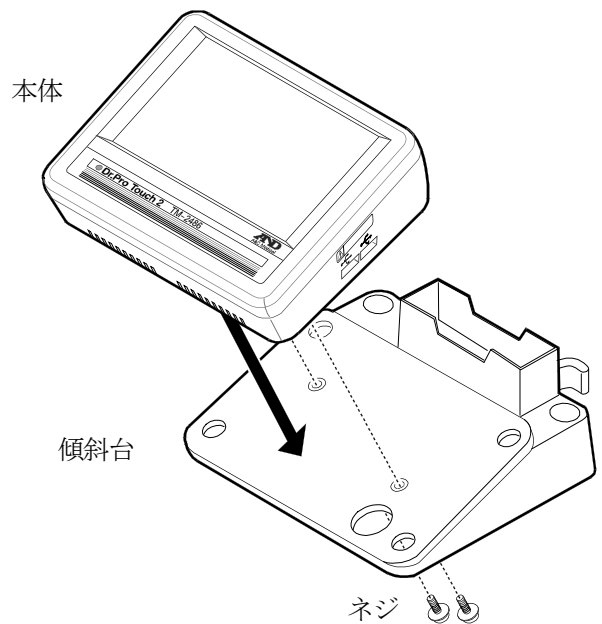
## 6. 使用前の準備

### 6.1. 本体の設置

本書巻頭の使用上の注意事項を参照し、適切な場所に安全かつ正しい方法で装置本体を設置します。

### 6.2. 傾斜台取り付け

本製品を傾斜台に取り付けネジ（2本）で固定してください。

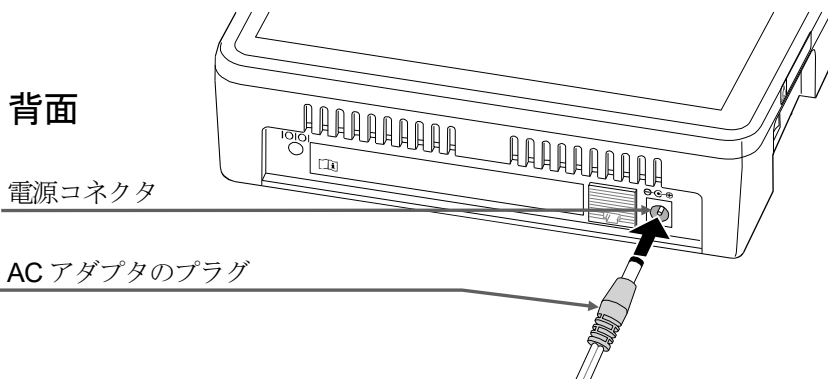


### 6.3. 電源の接続

本製品は、AC 電源により動作します。

#### <手順>

- ① AC アダプタの出力ケーブルを本体の電源コネクタへ差し込んでください。
- ② 付属の AC アダプタプラグを壁面の AC100V（交流）コンセントに差し込んでください。



#### ⚠ 注意



□ AC アダプタは必ず指定のものを使用してください。

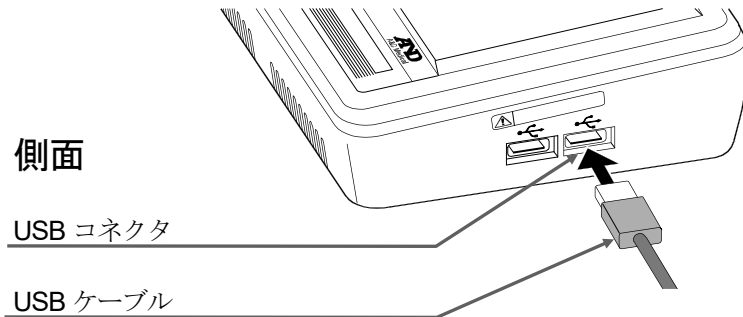
## 6.4. 血圧計の接続

本製品へ血圧計を接続するには、通信ケーブル（USB仕様）が必要です。

- ※ 通信ケーブルの長さは1.5 m以下とする。
- ※ 本製品には、上記以外の機器を接続しないこと。

### 6.4.1. USB仕様の場合

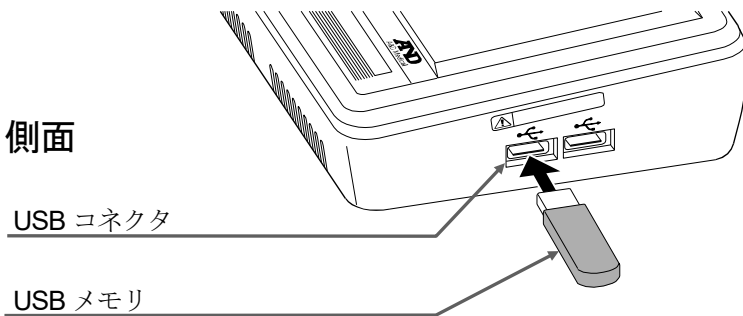
本製品の側面のUSBコネクタにUSBケーブル（AX-KOUSB4C）を差し込みます。



## 6.5. USBメモリの接続

データをUSBメモリに保存したいときに使用します。

本製品へUSBメモリを接続するには、側面のUSBコネクタにUSBメモリを差し込みます。





## 6.6. 始業前点検

### 警告



- 安全に正しく使用するため日常点検として「始業前点検」を必ず行ってください。

### 6.6.1. はじめに

一日の最初に使用するとき、以下の「始業前点検」を行ってください。

### 6.6.2. 電源投入前

- 本体
  - 本製品および、外観が、落下等による変形や破損はないか
  - 汚れがひどくないか
  - 濡れていないか
- ACアダプタ
  - 本製品のコネクタに確実に挿入されているか
  - 電源ケーブルの上にものを置いていないか
  - 電源ケーブルは損傷がないか
- 通信コネクタ
  - 接続端子にガタつきや、破損がないか

### 注意



- 本製品は、本体メモリまたは、USB メモリにデータを保存できますが、データの消失・削除に伴う損害が発生する可能性があります。必ず測定データのバックアップを行ってください。
- USB メモリを挿す際にデータが破損する可能性があります。本製品に挿す前に必ずデータのバックアップを行ってください。

### 6.6.3. 電源投入後

- 本製品
  - けむりが出たり、変なにおいはないか
  - 異常な音が聞こえないか
- 時刻の確認
  - 時刻は正しくセットされているか
  - 測定値を解析するときや、記録に残す場合、時刻が違っていると、データが不正確となりますので注意が必要です。

上記の「始業前点検」は、血圧計の「始業前点検」項目と併せてご確認ください。

## 7. 画面と操作

本製品はタッチパネル式です。各画面の操作は、直接画面にタッチすることにより操作可能です。



 <b>注意</b>	
	□ タッチパネルの表面を鋭利な刃物やとがった物で、こすったり押ししたりしないでください。

### 7.1. 画面表示概要





本製品を使用するにあたり、表示される各画面について説明します。  
電源を ON すると、起動画面表示後、「ホーム」画面が立ち上がります。

#### 7.1.1. 画面共通





番号	名称	説明
①	時刻	本製品の時刻を表記します。
②	接続方式	血圧計を接続し通信状態のとき、血圧計との接続方式を表示します。 （「 <b>USB</b> 」は、 <b>USB</b> 接続中を意味します）
③	血圧計マーク	血圧計との接続が通信状態のとき、点灯します。 血圧計が接続されていない、または使用状態になっていない場合、マークは  となります。
④	USB メモリマーク	USB メモリが使用可能のとき、点灯します。 USB メモリが接続されていない場合、マークは  となります。

## <接続関連>

アイコン	説明
	TM-2486 と血圧計の接続状態を表します。 血圧計と TM-2486 が通信可能です。
	TM-2486 に血圧計が接続されていません。 または使用状態になっていません。
	TM-2486 と USB メモリの接続状態を表します。 USB メモリが使用可能です。
	TM-2486 に USB メモリが接続されていません。 または使用状態になっていません。

## <アイコン>

アイコン	説明
	「詳細解析」アイコンです。 血圧計や、本体メモリ、USB メモリに保存されたデータを読み込み、解析します。
	「けんさの準備」アイコンです。 測定設定を選択し、血圧計に登録します。
	「かんたん解析」アイコンです。 血圧計が接続されたとき、操作可能になります。 接続された血圧計からデータ読み込み、解析を行います。
	「設定」アイコンです。 本製品の設定や周辺機器の設定を行います。
	「トリセツ」アイコンです。 本製品や血圧計の取扱説明を行います。

## 7.1.2. USBメモリの安全な取り外し

### <手順>

USBメモリは下記の手順で取り外してください。

USBメモリが接続され使用可能のときは、下記の表示になっています。

- ① 画面右上の「USBメモリマーク」をタッチしてください。



- ② 確認ポップアップが表示されます。「はい」キーをタッチしてください。



- ③ 「USBメモリマーク」が~~USB~~になります。  
~~USB~~マークになったら USB コネクタから USB メモリを取り外してください。



## 7.2. ホーム画面

「ホーム」画面より、「トリセツ」・「けんさの準備」・「かんたん解析」・「詳細解析」・「設定」画面へ移行します。

「ホーム」画面：



## 7.3. かんたん解析

「かんたん解析」では、現在接続されている血圧計より読み込んだデータを基に計算を行い、データの保存やレポート出力を行います。（血圧計を接続しない場合、キーをタッチしても機能しません）

- 血圧計から測定データを読み込みます。
- 読み込んだ測定データから、解析する区間を設定します。
- 読み込んだデータをリスト表示します。
- レポートに記載する被験者情報を入力します。
- 解析区間内のデータを用いて、種々の計算を行い、定められた形式のレポートを出力します。
- 測定データを各ファイル形式で保存します。

### 7.3.1. 通信の準備

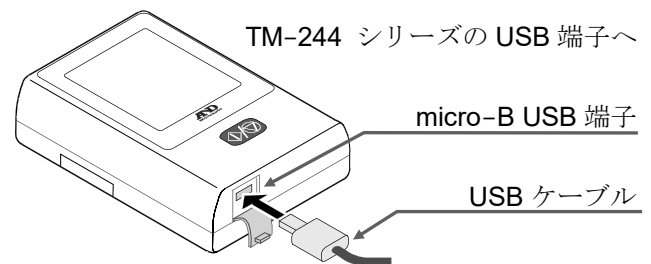
#### ⚠ 注意



- 血圧計からデータを取り込み、本製品の画面上にデータが表示されたら、血圧計から接続ケーブルを取り外してください。血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置すると、血圧計の電池を消耗します。
- 通信ケーブルを取り外すと、血圧計は時計表示へ戻ります。



### 通信ケーブルによる通信 手順

- ① 本製品の側面のコネクタに、通信ケーブルを接続します。（「6. 使用前の準備」を参照してください。）
- ② 通信ケーブルの micro-B 側を血圧計（TM-244 シリーズ）に接続します。  
血圧計（TM-244 シリーズ）の OLED 表示が以下ようになります。  
TM-2441 の場合、LCD 表示は以下のようなになる。



- ③ 血圧計の OFF 表示が ON 表示が変わったら、ケーブルによる通信準備の完了です。

## TM-2486 での通信動作 手順

- ① 血圧計が通信可能状態になると、通信接続音が鳴り、「血圧計マーク

### 注意




- 血圧計のバッテリー残量が少ないと血圧計は通信モードになりません。  
血圧計の乾電池残量表示が次の場合には、血圧計のバッテリーを交換してください。




## 7.3.2. データ読込

「ホーム」画面において「かんたん解析」アイコンをタッチすると、プログレスバーが表示され、血圧計に保存されている全データを読み込みます。

### <手順>

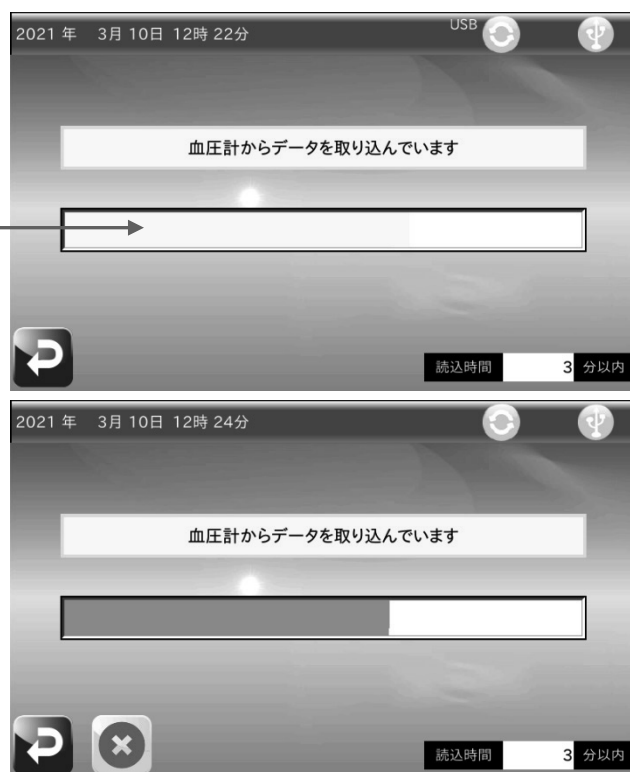
- ① 読込終了後、自動的に「データ解析区間」画面になります。
- ② 「リターン」キー  を押すと、データ読込を中止します。
- ③ データ読込終了後、血圧計から通信ケーブルを抜いてください。

※ TM-2441L-JC16 接続時のみ、読込時間を表示します。  
血圧データ読込中はプログレスバーの色はイエロー、環境データ読込中はオレンジになります。

※ 環境データ読込中は「キャンセル」キー  が表示されます。  
タッチすると環境データ読込をキャンセルし、血圧データのための「データ解析区間」画面へ遷移します。

「データ読込」画面：

プログレスバー（進行状況表示バー）



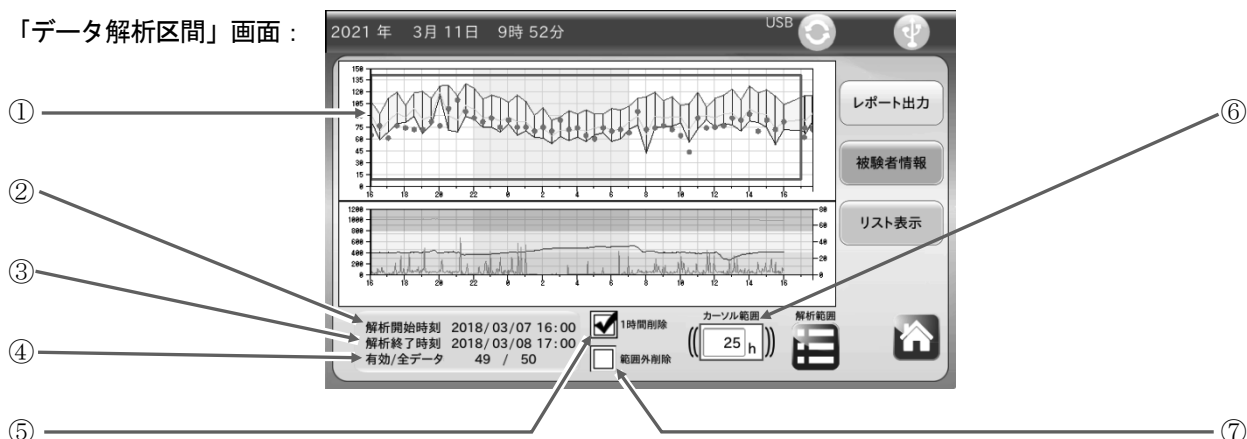


### 7.3.3. データ解析区間

読み込んだ測定データをトレンドグラフで表示します。

画面上部のグラフは血圧データ、下部のグラフは温度、気圧、活動量情報を表示します。


「データ解析区間」画面：



番号	名称	説明
①	解析区間カーソル	設定した時間幅で解析区間の解析を表します。 グラフ内をタッチすると解析区間が移動します。
② ③	解析開始時刻/ 解析終了時刻	解析する区間データの範囲を表します。
④	有効/ 全データ数	解析区間データ内の有効データの数を表します。
⑤	1時間削除	対象データ設定で設定した時刻分のデータを解析開始時刻から削除します。
⑥	カーソル範囲	解析区間カーソルの時間幅です。 数値をタッチすると「数値入力」ダイアログが表示され、時間幅を変更します。
⑦	範囲外削除	対象データ設定で設定した測定値を満たさないデータを削除します。

※ 「数値入力」ダイアログに関しては、「10.1.数値入力」を参照してください。

#### <操作>

- ① 「解析範囲」キーをタッチすると、「解析範囲」画面に移行します。
- ② 「レポート出力」キーをタッチすると、「レポート出力」画面に移行します。
- ③ 「被験者情報」キーをタッチすると「被験者情報」画面へ移行します。
- ④ 「リスト表示」キーをタッチすると、「リスト表示」画面へ移行します。
- ⑤ 「ホーム」キーをタッチするとポップアップが表示されます。「はい」をタッチすると読み込んだデータを全てクリアして「ホーム」画面へ戻ります。
- ⑥ 「解析範囲」キーをタッチすると、「解析範囲」画面に移行します。選択した解析開始時刻からカーソル範囲で指定した時間が解析範囲となります。


## 7.3.4. 解析範囲

リスト表示から解析範囲を選択します。



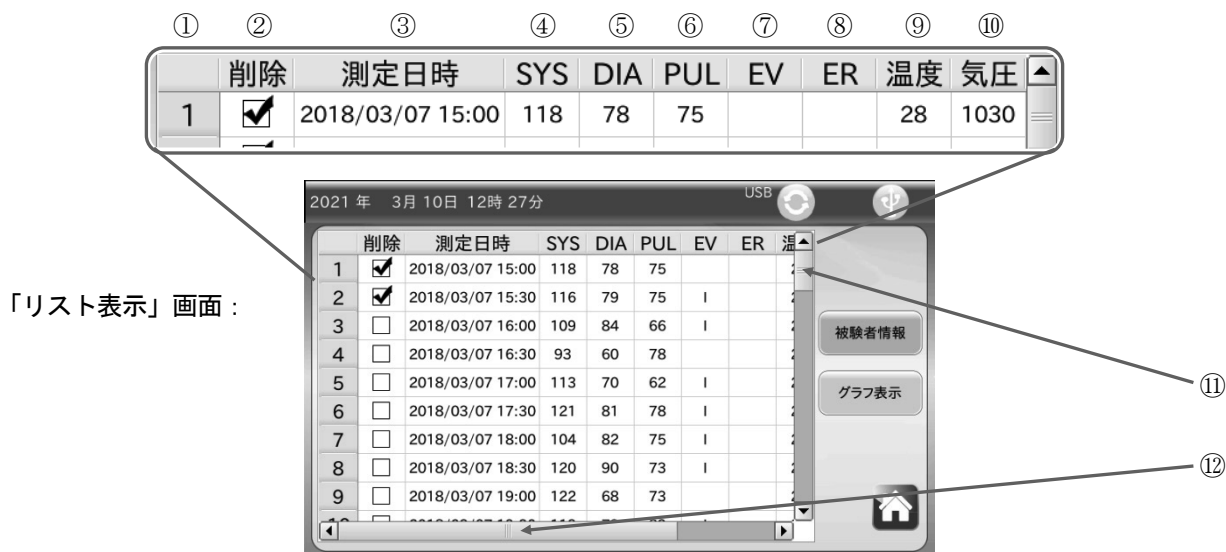
解析	測定日時	SYS	DIA	PUL	EV	ER
<input type="checkbox"/>	2018/03/07 15:00	118	78	75		
<input type="checkbox"/>	2018/03/07 15:30	116	79	75		
<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/07 16:00	109	84	66		
<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/07 16:30	93	60	78		
<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/07 17:00	113	70	62		
<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/07 17:30	121	81	78		
<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/07 18:00	104	82	75		
<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/07 18:30	120	90	73		
<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/07 19:00	122	68	73		
<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/07 19:30	113	79	83		

### <操作>

- ① 読み込んだ測定データが測定日時ごとにリストアップされます。
- ② 解析範囲のデータには、[解析]項目の□枠内に  マークが付きます。
- ③ 解析を開始したいデータの[解析]項目内をタッチします。
- ④ タッチしたデータの測定日時が解析開始日時となり、解析範囲が決まります。その後、「データ解析区間」画面へ移行します。

## 7.3.5. リスト表示

「データ解析区間」画面において「リスト表示」キーをタッチすると、「リスト表示」画面になります。



「リスト表示」画面：

番号	名称	説明
①	データ番号	測定日時順にソートした際に付加したデータ番号
②	削除	データの適応か削除を決定します。[削除]項目の□枠内をタッチするとチェックマークが表示されます。この時、該当データは解析に使用されなくなります。エラーデータの場合、このチェックマークを外すことはできません。
③	測定日時	データの測定年/月/日/時/分/を表示します。
④	SYS (最高血圧値)	最高血圧値を表示します。[ mmHg ]
⑤	DIA (最低血圧値)	最低血圧値を表示します。[ mmHg ]
⑥	PUL (脈拍)	脈拍を表示します。[ bpm ]
⑦	EV (イベント)	イベントを表示します。マニュアル測定を行うと「M」マークが表示され、自動測定が行われると空欄となります。また、IHB (Irregular Heart Beat : 不規則脈波) が検出されると「I」マークが表示されます。
⑧	ER (エラー)	エラーを表示します。測定エラーが発生すると、「ER」欄にエラー番号が表示されます。
⑨	温度	温度を表示します。[ °C ]
⑩	気圧	気圧を表示します。[ hPa ]
⑪	スクロールキー	△ : リストを上方向 (古いデータ) にスクロールさせます。 ▽ : リストを下方向 (新しいデータ) にスクロールさせます。 ◀ : リストを左方向にスクロールさせます。 ▶ : リストを右方向にスクロールさせます。
⑫	スクロールバー	リストの格納件数によりスクロールバーのサイズが変わります。スクロールバーを直接タッチするとリストのスクロールが可能です。

※ 機種に依存するエラーコードは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

- (1) 読み込んだ測定データが測定日時ごとにリストアップされます。
- (2) 画面上的 [削除] 項目の□枠内をタッチすると、□枠内に☑チェックマークが付きます。チェックマークが付くと、解析区間からそのデータを除外して画面表示します。また、計算結果からも除外されます。(データ上は削除されていません。)

## 7.3.6. 被験者情報



「データ解析区間」画面や「リスト表示」画面において「被験者情報」キーをタッチすると、「被験者情報」画面になります。

「被験者情報」画面：

被験者情報登録

被験者ID	0001		
被験者名	姓	kitamoto	
	名	tarou	
性別	男性	年齢	30 歳

「確定」キー      「キャンセル」キー

番号	説明
①	被験者 ID、被験者名（姓名）、性別、年齢を入力します。
②	被験者 ID 欄をタッチすると「英数入力」ダイアログが表示され、被験者（姓名）欄をタッチすると、「全角かな入力」ダイアログが表示されます。
③	「確定」キー  をタッチすると、設定が反映されます。
④	「キャンセル」キー  をタップすると、変更した設定値はクリアされ「データ解析区間」画面へ戻ります。


## 7.3.7. レポート出力

「データ解析区間」画面において「レポート出力」キーをタッチすると、「レポート出力」画面になります。

### 「レポート出力」タブ

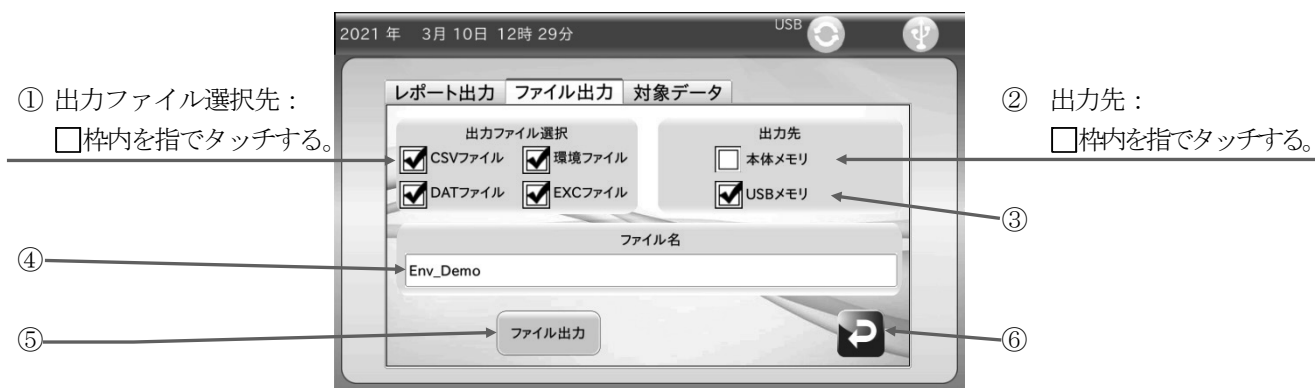
「レポート出力・レポート印刷」画面：




番号	説明
①	起床時間と就寝時間を設定してください。
②	レポート形式を選択してください。24時間レポート、24時間レポート拡大版、簡易レポート、フルレポートから選択できます。(各レポートの詳細は「11.レポート出力」を参照してください。)
③	診察室収縮期血圧値を入力してください。入力されない場合、「リスト表示」画面上でのデータ番号#1のデータを使用します。(この値は簡易レポートでのみ、使用します。)
④	トレンドグラフのY軸の最大値を設定します。AUTOの場合、最大血圧値により自動で設定されます。
⑤	「リターン」キー  をタッチすると「データ解析区間」画面へ戻ります。
⑥	USBメモリが接続されていると、「PDF出力」キーが有効となり、レポートをPDFファイル形式でUSBメモリに出力します。(USBメモリが接続されていない場合、「PDF出力」キーは無効となり操作できません。)

## 「ファイル出力」タブ

「レポート出力・ファイル出力」画面：



番号	説明
①	出力ファイル形式を CSV ファイル、DAT ファイル、環境ファイル、EXC ファイルから選択できます。選択する場合、文頭にある□枠内をタッチしてください。選択されると、□枠内に☑チェックマークが付きます。 (環境ファイルは本体メモリには出力できません。USB メモリを選択してください) (環境ファイルは単独で出力することはできません。CSV ファイル、DAT ファイル、EXC ファイルから選択してください。)
②	ファイルの出力先を本体メモリに選択します。選択する場合、文頭にある□枠内をタッチしてください。選択されると、□枠内に☑チェックマークが付きます。
③	USB メモリが接続されていると、出力先に「□USB メモリ」が自動的に選択されます。非選択する場合、文頭にある☑枠をタッチしてください。非選択されると☑枠内の☑チェックマークが消えます。(USB メモリを接続していない場合、選択できません)
④	ファイル名を英数表記で入力します。(ファイル名は保存すると、末尾に自動的にタイムスタンプが付きます。) ファイル名の白枠をタッチすると、「英数入力」ダイアログが表示されます。 (「10.4.英数入力」を参照してください。) ファイルの名前を入力して「ENT」キーをタッチして名前を確定してください。
⑤	上記の設定が終了したら、「ファイル出力」キーをタッチしてください。ファイルが出力されます。
⑥	「リターン」キー  をタッチすると「データ解析区間」画面へ戻ります。

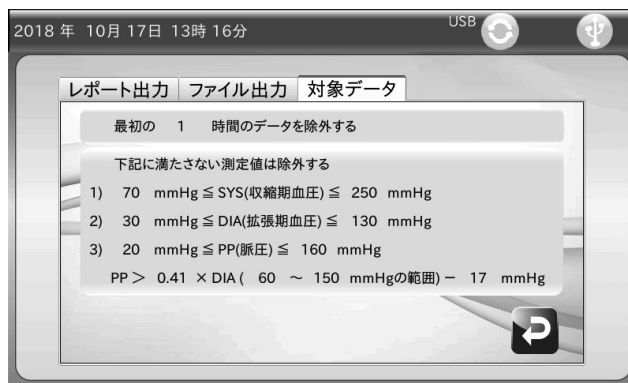
### 注意




- 本製品は、本体メモリまたは、USB メモリにデータを保存できますが、データの消失・削除に伴う損害が発生する可能性があります。必ず測定データのバックアップを行ってください。
- USB メモリを挿す際にデータが破損する可能性があります。本製品に挿す前に必ずデータのバックアップを行ってください。

## 「対象データ」タブ

「レポート出力・対象データ」画面：



番号	説明
①	除外対象データの設定を確認します。(除外対象データの設定は、「8.5.対象データ」を参照してください。)
②	未対応の設定は、文字が灰色で表記されます。
③	「リターン」キー  をタッチすると「データ解析区間」画面へ戻ります。

## 7.4. けんさの準備

けんさの準備では血圧計の測定条件設定や、データの削除を行います。

### 7.4.1. 血圧計設定

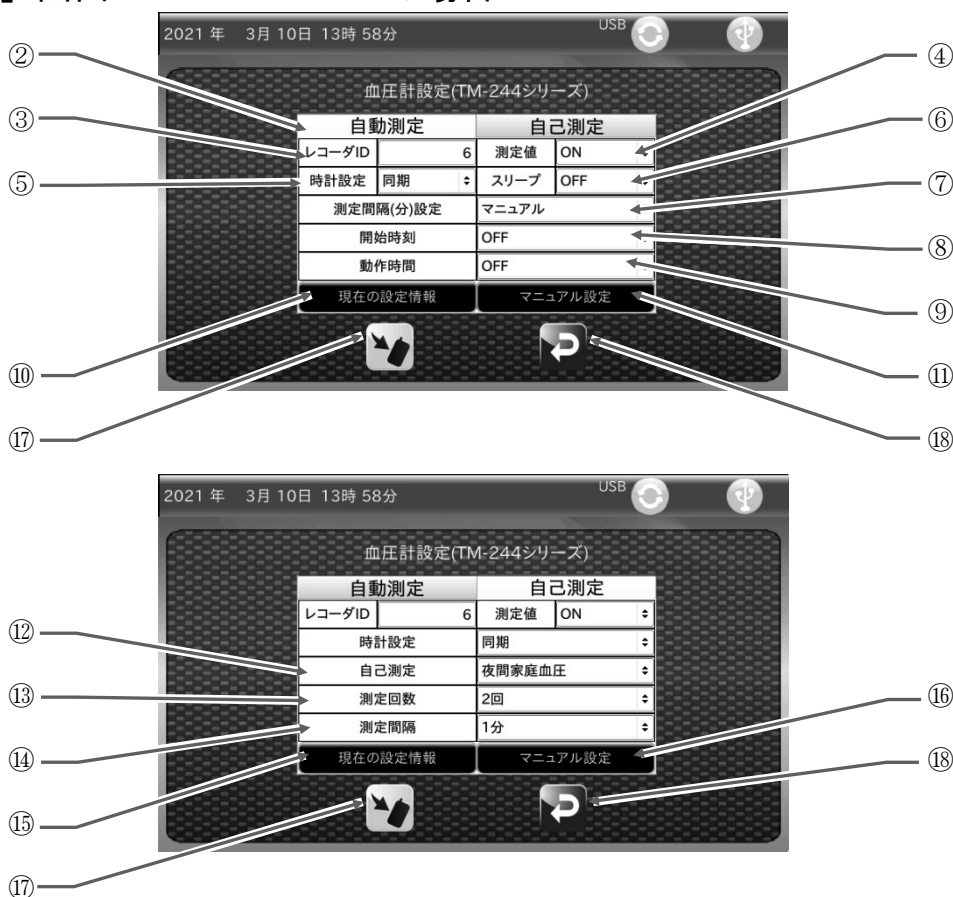
#### ⚠ 注意



- 「けんさの準備」アイコンをタッチすると、血圧計に下記項目を設定し、同時に血圧計の測定データを削除します。測定データは復帰できませんのでご注意ください。必ず測定データの解析を完了してから「けんさの準備」を行ってください。
- 大切なデータは、削除する前にパソコン等に保存してください。
- 血圧計を新しい被験者に取り付ける場合、必ず測定データを削除してください。

「ホーム」画面において「けんさの準備」アイコンをタッチすると、「血圧計設定」画面になります。



#### 「血圧計設定」画面：TM-2441-JC の場合



番号	説明
①	血圧計 TM-2441-JC と接続してください。
②	「自動測定」タブをタッチすると自動血圧測定の設定画面になります。 「自己測定」タブをタッチすると自己血圧測定の設定画面になります。
③	レコーダ ID では、白枠をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。 (「10.1.数値入力」を参照してください) 99 までの数字を入力します。入力後、「ENT」キーをタッチしてレコーダ ID を確定してください。 (血圧計の ID が未設定の場合は「0」が表示されます)



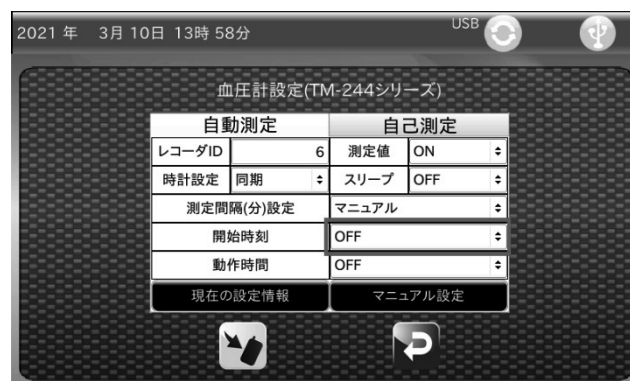
番号	説明
④	測定値では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 (「10.2. プルダウン選択」を参照してください) ON/OFF を選択することで、血圧測定後に測定値を表示するかを設定します。 選択後、「OK」キーをタッチして測定値表示を確定してください。
⑤	時刻同期では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 同期を選択することで、血圧計の時計を設定します。選択後、「OK」キーをタッチして時刻同期を確定してください。
⑥	スリープでは、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 ON/OFF を選択することで、自動血圧測定時のスリープ動作を設定します。選択後、「OK」キーをタッチしてスリープを確定してください。
⑦	測定間隔(分)設定では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 測定間隔を マニュアル、5分、10分、20分、30分、60分、120分、OFF から選択できます。 選択後、「OK」キーをタッチして測定間隔を確定してください。 ※ 測定間隔(分)設定で使用するモードについて説明します。 マニュアル：24時間を6つの区間に分け、各々の時間帯の測定間隔を自由に設定します。 ※ マニュアルについては「7.4.4. マニュアル設定確認」で詳細確認および設定・変更ができます。
⑧	開始時刻では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 開始時刻を OFF、0時、1時、2時、3時、4時、5時、6時、7時、8時、9時、10時、11時、12時、13時、14時、15時、16時、17時、18時、19時、20時、21時、22時、23時から選択できます。 選択後、「OK」キーをタッチして開始時刻を確定してください。
⑨	動作時間では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 動作時間を OFF、1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間、7時間、8時間、9時間、10時間、11時間、12時間、13時間、14時間、15時間、16時間、17時間、18時間、19時間、20時間、21時間、22時間、23時間、24時間、25時間、26時間、27時間から選択できます。 選択後、「OK」キーをタッチして動作時間を確定してください。
⑩	「現在の設定情報」キーをタッチすると、「7.4.3 血圧計設定確認」の「現在の自動測定設定」画面へ移行します。
⑪	「マニュアル設定」キーをタップすると「7.4.4. マニュアル設定確認」の「マニュアル設定：自動測定」画面へ移行し、自動測定の詳細確認および設定・変更ができます。
⑫	自己測定では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 自己血圧測定の動作モードを診察室血圧、自動診察室血圧、家庭血圧、夜間家庭血圧、アラーム自己測定から選択できます。選択後、「OK」キーをタッチして自己測定を確定してください。 ※ 夜間血圧測定、アラーム自己測定については「7.4.4. マニュアル設定確認」ので詳細確認および設定・変更ができます。
⑬	測定回数では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 測定間隔を 1回、2回、3回、4回、5回から選択できます。 選択後、「OK」キーをタッチして測定間隔を確定してください。 自己測定で診察室血圧モード選択時は操作できません。
⑭	測定間隔では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 自己測定で自動診察室血圧モード選択時は、 測定間隔を 3分、4分、5分、6分、7分、8分、9分、10分から選択できます。 自己測定で家庭血圧、夜間家庭血圧または、アラーム自己測定モード選択時は、 測定間隔を 1分、2分、3分、4分、5分から選択できます。 選択後、「OK」キーをタッチして測定間隔を確定してください。 自己測定で診察室血圧モード選択時は操作できません。
⑮	「現在の設定情報」キーをタッチすると、「7.4.3 血圧計設定確認」の「現在の設定情報：夜間家庭血圧」画面へ移行します。

番号	説明
⑯	「マニュアル設定」キーをタップすると「7.4.4. マニュアル設定確認」の「マニュアル設定：夜間家庭血圧」画面へ移行し、詳細確認および設定・変更ができます。
⑰	「設定」キー  をタッチすると設定が血圧計へ反映され、「データクリア」画面へ移行します。
⑱	「リターン」キー  をタッチすると、変更した設定はクリアされ「血圧計の選択」画面へ戻ります。

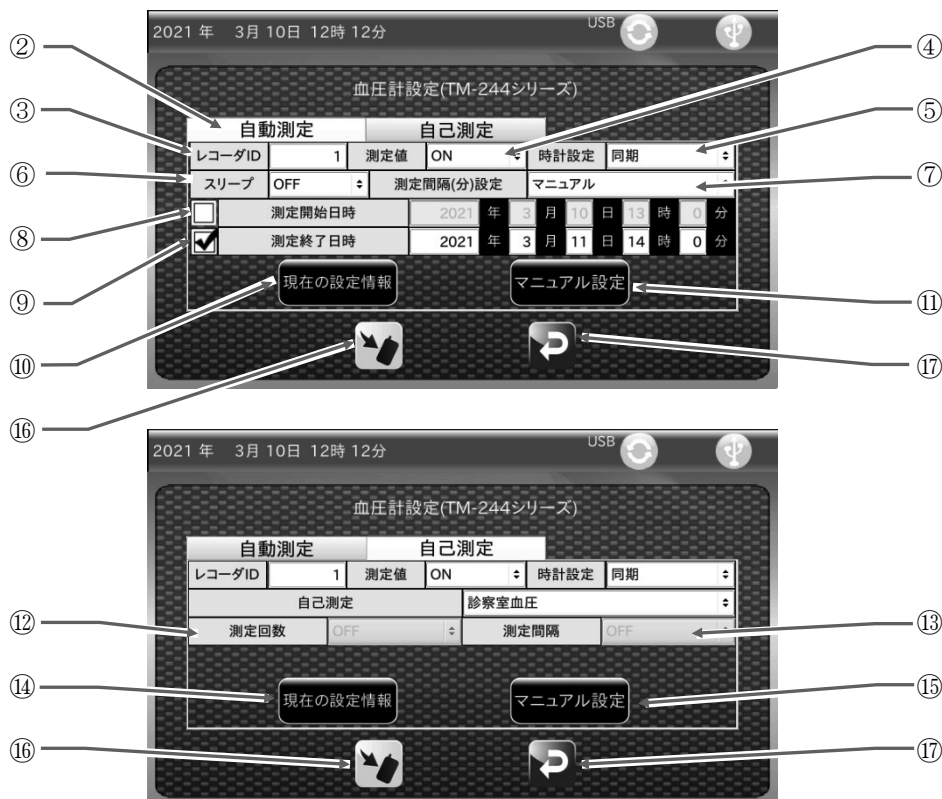
## 「現在の時刻」と「開始時刻」の関係

自動測定の開始時刻を「OFF」以外に設定されていると、設定された時刻から自動測定が開始されます。開始時刻の設定が現在の時刻より前だと翌日の設定時刻より自動測定が開始されます。



例 設定を入力した時刻 : 10時00分  
開始時刻の設定 : 9時00分



## 「血圧計設定」画面：(TM-2441L-JC16 の場合)



番号	説明
①	血圧計 TM-2441L-JC16 と接続してください。
②	「自動測定」タブをタッチすると自動血圧測定の設定画面になります。 「自己測定」タブをタッチすると自己血圧測定の設定画面になります。

番号	説明
③	レコーダ ID では、白枠をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。 (「10.1. 数値入力」を参照してください。)
④	測定値では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 (「10.2. プルダウン選択」を参照してください。) ON/OFF を選択することで、血圧測定後に測定値を表示するかを設定します。 選択後、「OK」キーをタッチして測定値表示を確定してください。
⑤	時刻同期では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 同期を選択することで、血圧計の時計を設定します。選択後、「OK」キーをタッチして時刻同期を確定してください。
⑥	スリープでは、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 ON/OFF を選択することで、自動血圧測定時のスリープ動作を設定します。選択後、「OK」キーをタッチしてスリープを確定してください。
⑦	測定間隔(分)設定では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 測定間隔を マニュアル、5分、10分、20分、30分、60分、120分、OFF から選択できます。 選択後、「OK」キーをタッチして測定間隔を確定してください。
⑧	測定開始日時時の□枠内をタッチすると、□枠内に☑チェックマークがつき、現在時刻から算出された測定開始日時(年・月・日・時・分)が表示されます。白枠をタッチすると「数値入力」ダイアログが表示され、各設定を変更できます。
⑨	測定終了日時時の□枠内をタッチすると、□枠内に☑チェックマークがつき、現在時刻から算出された測定終了日時(年・月・日・時・分)が表示されます。白枠をタッチすると「数値入力」ダイアログが表示され、各設定を変更できます。
⑩	「現在の設定情報」キーをタッチすると、「7.4.3 血圧計設定確認」の「現在の自動測定設定」画面へ移行します。
⑪	「マニュアル設定」キーをタップすると「7.4.4. マニュアル設定確認」の「マニュアル設定：自動測定」画面へ移行し、詳細確認および設定・変更ができます。
⑫	測定回数では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 測定間隔を 1回、2回、3回、4回、5回から選択できます。 選択後、「OK」キーをタッチして測定間隔を確定してください。 自己測定で診察室血圧モード選択時は操作できません。
⑬	測定間隔では、白枠をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。 自己測定で自動診察室血圧モード選択時は、 測定間隔を 3分、4分、5分、6分、7分、8分、9分、10分から選択できます。 自己測定で家庭血圧、夜間家庭血圧または、アラーム自己測定モード選択時は、 測定間隔を 1分、2分、3分、4分、5分から選択できます。
⑭	「現在の設定情報」キーをタッチすると、「7.4.3 血圧計設定確認」の「現在の設定情報：夜間家庭血圧」画面へ移行します。
⑮	「マニュアル設定」キーをタップすると「7.4.4. マニュアル設定確認」の「マニュアル設定：夜間家庭血圧設定」画面へ移行し、詳細確認および設定・変更ができます。
⑯	「設定」キー  をタッチすると設定が血圧計へ反映され、「データクリア」画面へ移行します。
⑰	「リターン」キー  をタッチすると、変更した設定はクリアされ「血圧計の選択」画面へ戻ります。

## 7.4.2. データクリア

### ⚠ 注意



- 「データクリア」すると、血圧計の測定データは削除され復帰できませんのでご注意ください。必ず測定データの解析を完了してから「データクリア」を行ってください。また、大切なデータは、事前にパソコン等に保存してください。
- 血圧計を新しい被験者に取り付ける場合、必ず測定データを削除してください。



「7.4. けんさの準備」の「血圧計設定」画面及び、「7.4.1. 血圧計設定」の「血圧計設定」画面において「設定」キーをタッチすると、「データクリア」画面になります。

「データクリア」画面：



「破棄」キー

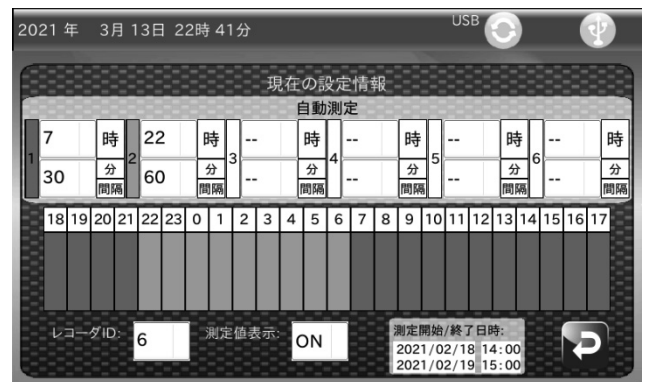
### <操作>

- ① 「破棄」キー  をタッチすると、データクリア確認ダイアログが表示されます。ここで「はい」を選択すると、「血圧データを消去中」と記載されたポップアップが表示され、血圧計内に保存されている測定データが全て削除されます。（ここで「いいえ」を選択すると、「データクリア」画面に戻ります。）全てのデータが消去し終わると、上記のポップアップが「血圧データを消去しました」へと変化し、データの削除音が鳴動します。
- ② ポップアップが消えると自動的に「ホーム」画面へ戻ります。
- ③ 「リターン」キー  をタッチすると、データはクリアされずに「血圧計設定」画面へ戻ります。


## 7.4.3. 血圧計設定確認

「血圧計設定」画面の自動測定タブにおいて、  
「現在の設定情報」キーをタッチすると、「現在の設定情報：自動測定」画面になります。

「現在の設定情報：自動測定」画面：



### <操作手順>

- ① 接続されている血圧計の現在の設定情報を表示します。
- ② 「リターン」キーをタッチすると、「血圧計設定」画面へ戻ります。

「血圧計設定」画面の自己測定タブにおいて、  
「現在の設定情報」キーをタッチすると、「現在の設定情報：夜間家庭血圧」画面になります。また、  
「アラーム自己測定」キーをタッチすると、「現在の設定情報：アラーム自己測定」画面に切り替わります。


「現在の設定情報：夜間家庭血圧」画面：



「現在の設定情報：アラーム自己測定」画面：



### <操作手順>

- ① 接続されている血圧計の現在の設定情報を表示します。
- ② 「リターン」キーをタッチすると、「血圧計設定」画面へ戻ります。



## 7.4.4. マニュアル設定確認

「血圧計設定」画面の自動測定タブにおいて、「マニュアル設定」キーをタッチすると、「マニュアル設定：自動測定」画面になります。

「マニュアル設定：自動測定」画面：



### <操作手順>

- ① 各欄をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。（「10.2. プルダウン選択」を参照してください。）
- ② 帯グラフの1区画をタップすると、測定間隔がポップアップ表示されます。
- ③ 「確定」キーをタッチすると、変更値は保存されます。登録完了後、「血圧計設定」画面へ戻ります。
- ④ 「キャンセル」キーをタッチすると、変更値は保存されず「血圧計設定」画面へ戻ります。

「血圧計設定」画面の自己測定タブにおいて、「マニュアル設定」キーをタッチすると、「マニュアル設定：夜間家庭血圧」画面になります。また、「アラーム自己測定」キーをタッチすると、「マニュアル設定：アラーム自己測定」画面に切り替わります。



「マニュアル設定：夜間家庭血圧」画面：



「マニュアル設定：アラーム自己測定」画面：



### <操作手順>

- ① 各欄をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。（「10.2. プルダウン選択」を参照してください。）
- ② 「確定」キーをタッチすると、変更値は保存されます。登録完了後、「血圧計設定」画面へ戻ります。
- ③ 「キャンセル」キーをタッチすると、変更値は保存されず「血圧計設定」画面へ戻ります。

## 7.5. 詳細解析

「ホーム」画面において「詳細解析」アイコンをタッチすると、「データの解析」画面になります。

「データの解析」画面：



### 「データの解析」画面の機能

「データの解析」画面では、本体メモリやUSBメモリに保存されたCSV・DATファイルデータを読み取り解析します。

- CSVファイルデータ 血圧解析ソフト Dr.Pro3 ※1 で読み込むことができる血圧データ形式です。CSV形式でデータを保存します。除外する情報の保存ができます。
- DATファイルデータ TM-2430-15 ※2、Dr.Pro3 の血圧データを読み込むことができる形式です。イベント(EV)情報を保存できます。
- 環境ファイルデータ 温度、気圧、活動量情報を保存できます。
- EXCファイルデータ 血圧解析ソフト Dr.Pro3 ※1 で読み込むことができる血圧データ形式です。CSV形式でデータを保存します。除外理由の情報を保存できます。

### 「データの解析」画面の操作キー

「かんたん解析」のように血圧計からもデータを読み取ることができます。

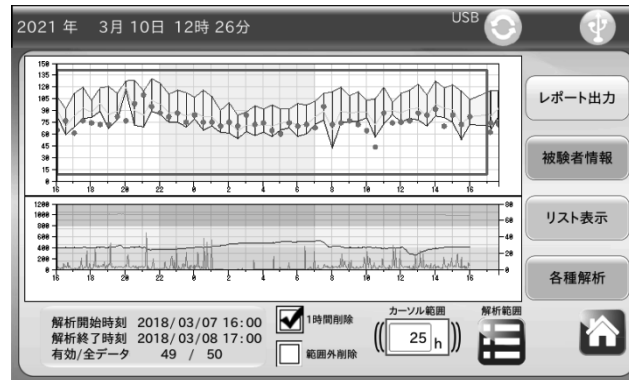
- 「血圧計」キー： TM-244 シリーズに保存されている血圧データファイルから、データを読み込みます。TM-244 シリーズの場合は、温度、気圧、活動量情報も読み込みます。(本製品に通信ケーブルで血圧計が接続されていると「血圧計」キーが選択可能となります。)
- 「USBメモリ」キー： USBメモリに保存されている血圧データファイル、環境データファイルから、データを読み込みます。(本製品にUSBメモリが接続されていると「USBメモリ」キーが選択可能となります。)
- 「本体メモリ」キー： 本体メモリに保存されている血圧データファイルから、データを読み込みます。

※1 Dr.Pro3 : 血圧解析ソフト (詳しくは弊社営業所までお問い合わせください。)

※2 TM-2430-15 : Dr.Pro3 以前の血圧解析ソフト

## 7.5.1. 血圧計 [データの解析]

「詳細データ解析区間」画面：



- 「7.3. かんたん解析」と基本的には同様です。
- 「データ解析区間」画面において、「各種解析」キーが追加されています。このキーをタッチすると、解析区間内のデータを計算した後、「各種解析」画面へ移行します。（「7.6.各種解析」参照）

## 7.5.2. USBメモリ読取

- USBメモリが接続されると、「データの解析」画面の「USBメモリ」キーが操作可能となります。
- USBメモリに保存されたCSV・DATファイルから血圧データを、環境ファイルから環境データを読み込みます。

## 7.5.3. 本体メモリ読取

本製品の本体メモリに保存されているCSV・DATファイルから血圧データを読み込みます。





## 7.6. 各種解析

「データ解析区間」画面において「各種解析」キーをタッチすると、「各種解析」画面になります。

「各種解析」画面：



### <操作>

- ① 「各種解析」画面では、解析区間内のデータを用いて計算を行い、以下のグラフを描画出力します。
  - サマリーデータ
  - 相関図
  - HBI グラフ
  - トレンドグラフ・トレンドリスト
  - 平均トレンドグラフ・平均トレンドリスト
  - ヒストグラム
  - サーカディアンリズム
- ② 「リターン」キー  をタッチすると「データ解析区間」画面へ戻ります。
- ③ 「ホーム」キー  をタッチすると、ポップアップが表示されます。「はい」を選択すると、「ホーム」画面へ戻ります。

## 7.6.1. サマリー

### 区間解析サマリー

「サマリーデータ・区間解析」画面：

「区間解析」タブをタッチすると表示されます。

2018年 11月 14日 14時 44分

区間解析 起床 就寝

区間範囲 24h 2018/03/07 16:00->2018/03/08 16:00  
有効データ数 49 無効データ数 1 2.0%

	最小値	平均	最大値	SD	SE	CV%
最高血圧[mmHg]	85	110	132	11.87	1.70	10.74
最低血圧[mmHg]	43	73	117	12.14	1.73	16.68
平均血圧[mmHg]	65	85	121	10.81	1.54	12.70
脈拍数[BPM]	44	78	111	11.01	1.57	14.16

SYS/DIALしきい値 起床時 140 / 90 [mmHg]  
睡眠時 120 / 70 [mmHg]

最高血圧 > 2.0% 最低血圧 > 12.2%

最高血圧最大値 132 mmHg at 2018 / 03 / 07 21 : 30  
最高血圧最小値 85 mmHg at 2018 / 03 / 08 02 : 30  
最低血圧最大値 117 mmHg at 2018 / 03 / 07 20 : 00  
最低血圧最小値 43 mmHg at 2018 / 03 / 08 08 : 00

PDF出力

### 起床時間サマリー

「サマリーデータ・起床時間」画面：

「起床」タブをタッチすると表示されます。

2018年 11月 14日 14時 44分

区間解析 起床 就寝

区間範囲 07:00->22:00  
有効データ数 31 無効データ数 1 3.1%

	最小値	平均	最大値	SD	SE	CV%
最高血圧[mmHg]	93	115	132	9.33	1.68	8.10
最低血圧[mmHg]	43	76	117	12.75	2.29	16.73
平均血圧[mmHg]	67	89	121	10.05	1.80	11.30
脈拍数[BPM]	44	79	111	12.63	2.27	16.04

SYS/DIALしきい値 起床時 140 / 90 [mmHg]

最高血圧 > 0.0% 最低血圧 > 3.2%

最高血圧最大値 132 mmHg at 2018 / 03 / 07 21 : 30  
最高血圧最小値 93 mmHg at 2018 / 03 / 07 16 : 30  
最低血圧最大値 117 mmHg at 2018 / 03 / 07 20 : 00  
最低血圧最小値 43 mmHg at 2018 / 03 / 08 08 : 00

PDF出力

### 就寝時間サマリー

「サマリーデータ・就寝時間」画面：

「就寝」タブをタッチすると表示されます。

2018年 11月 14日 14時 44分

区間解析 起床 就寝

区間範囲 22:00->07:00  
有効データ数 18 無効データ数 0 0.0%

	最小値	平均	最大値	SD	SE	CV%
最高血圧[mmHg]	85	102	126	11.47	2.70	11.22
最低血圧[mmHg]	55	67	86	8.38	1.98	12.54
平均血圧[mmHg]	65	78	99	8.78	2.07	11.20
脈拍数[BPM]	61	76	88	7.44	1.75	9.78


SYS/DIALしきい値 睡眠時 120 / 70 [mmHg]

最高血圧 > 5.6% 最低血圧 > 27.8%

最高血圧最大値 126 mmHg at 2018 / 03 / 07 22 : 00  
最高血圧最小値 85 mmHg at 2018 / 03 / 08 02 : 30  
最低血圧最大値 86 mmHg at 2018 / 03 / 07 22 : 00  
最低血圧最小値 55 mmHg at 2018 / 03 / 08 02 : 30

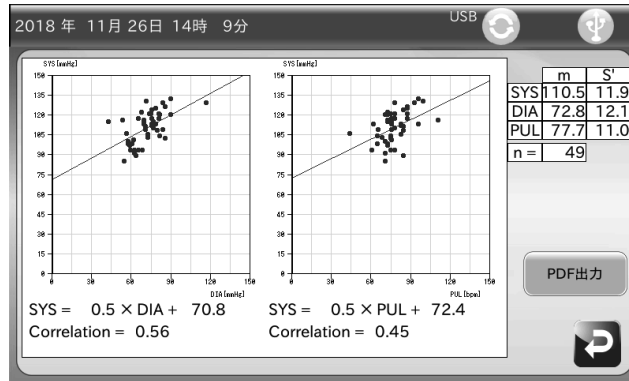
PDF出力

## <操作>

- ① 「サマリーデータ」画面では、解析区間内の全データ、起床時間中のデータ・就寝時間中のデータに分けて数値を算出します。
  - 最高血圧値の最小値・平均値・最大値・SD（標準偏差）・SE（標準誤差）・CV（変動係数）を算出します。
  - 最低血圧値の最小値・平均値・最大値・SD（標準偏差）・SE（標準誤差）・CV（変動係数）を算出します。
  - 平均血圧値の最小値・平均値・最大値・SD（標準偏差）・SE（標準誤差）・CV（変動係数）を算出します。
  - 脈拍の最小値・平均値・最大値・SD（標準偏差）・SE（標準誤差）・CV（変動係数）を算出します。
  - SYS/DIA しきい値として設定されたハイパーバリックしきい値を表記します。  
また、測定データにおいて、しきい値を越えたデータ数の割合を算出します。
  - 最高血圧最大・最小値、最低血圧最大・最小値の値と測定日時を表記します。
  - USBメモリが接続されている場合、「PDF出力」キーが操作可能になります。  
このキーをタッチするとUSBメモリへ、サマリーデータのPDFファイルが出力されます。
- ② 「リターン」キーをタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

## 7.6.2. 相関図

「相関図」画面：

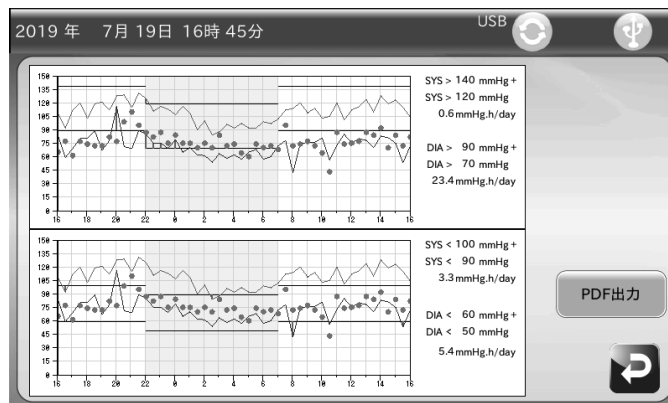


### <操作>

- 「相関図」画面では、解析区間内のデータを用いてSYSとDIA、SYSとPULを比較した散布図を描画します。
  - この散布図のデータ群を用いて線形一次近似直線を描画します。
  - 各グラフにおける近似直線および相関係数を算出します。
  - SYS、DIA、MAPの平均値、標準偏差を画面右上に表記します。
  - 画面右上にデータ数を表記します。
  - USBメモリが接続されている場合、「PDF出力」キーが操作可能になります。  
このキーをタッチするとUSBメモリへ、相関図グラフのPDFファイルが出力されます。
- 「リターン」キー➡をタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

## 7.6.3. HBI

「HBIグラフ」画面：



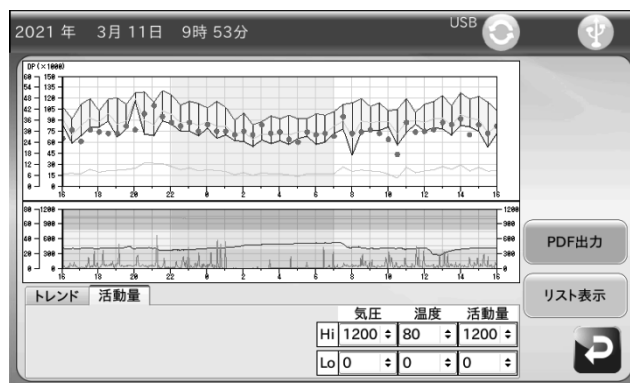
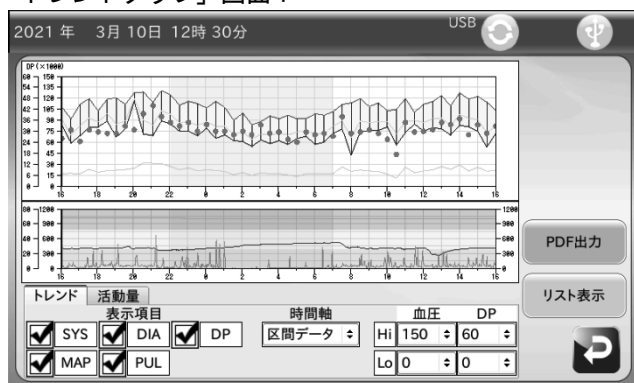
### <操作>

- 「HBIグラフ」画面では上段にトレンドグラフとハイパーバリックしきい値、下段にトレンドグラフとハイポバリックしきい値を描画します。
  - ハイパーバリックしきい値以上の値を示す領域とハイポバリックしきい値以下の値を示す領域を赤線で表記します。
  - 上記の領域の面積を計算します。
  - 設定された各しきい値を描画します。
  - USBメモリが接続されている場合、「PDF出力」キーが操作可能になります。  
このキーをタッチするとUSBメモリへ、HBIグラフのPDFファイルが出力されます。
- 「リターン」キー➡をタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。  
(HBIの詳細は「11.4. フルレポート」を参照してください。)

## 7.6.4. トレンド

### トレンドグラフ

「トレンドグラフ」画面：



### トレンドリスト

「トレンドリスト」画面：

2018年 11月 14日 14時 48分

USB

PDF出力

トレンド

	測定日時	SYS	DIA	MAP	PUL	DP	EV	温
1	2018/03/07 16:00	109	84	92	66	7.1	I	28
2	2018/03/07 16:30	93	60	71	78	7.2		28
3	2018/03/07 17:00	113	70	84	62	7.0	I	28
4	2018/03/07 17:30	121	81	94	78	9.4	I	28
5	2018/03/07 18:00	104	82	89	75	7.8	I	28
6	2018/03/07 18:30	120	90	100	73	8.7	I	28
7	2018/03/07 19:00	122	68	86	73	8.9		28
8	2018/03/07 19:30	113	79	90	83	9.3	I	30
9	2018/03/07 20:00	129	117	121	78	10.0	I	28

2018年 11月 14日 14時 48分


USB

PDF出力

トレンド

	日時	SYS	DIA	MAP	PUL	DP	EV	温度	気圧
1	7 16:00	109	84	92	66	7.1	I	28	1030
2	7 16:30	93	60	71	78	7.2		28	1030
3	7 17:00	113	70	84	62	7.0	I	28	1030
4	7 17:30	121	81	94	78	9.4	I	28	1031
5	7 18:00	104	82	89	75	7.8	I	28	1031
6	7 18:30	120	90	100	73	8.7	I	28	1031
7	7 19:00	122	68	86	73	8.9		28	1031
8	7 19:30	113	79	90	83	9.3	I	30	1032
9	7 20:00	129	117	121	78	10.0	I	28	1031

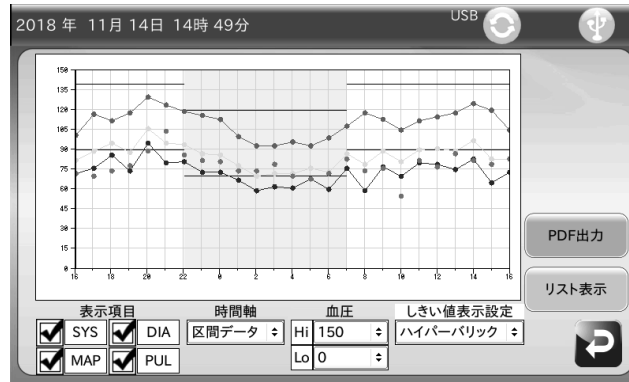
### <操作>

- ① 「トレンドグラフ」画面では、SYS、DIA、PUL、MAP、DPのトレンドおよび温度、気圧、活動量を描画します。
- ② 「トレンドリスト」画面では、データ番号・測定日時・SYS・DIA・MAP・PUL・DP・EV、温度、気圧、活動量を表示します。
  - 表示項目の各欄のチェックを外すと、グラフから除外します。
  - トレンドグラフの時間軸を変更したい場合はグラフ下部の「時間軸」欄をタッチしてください。
  - トレンドグラフの血圧 (mmHg・bpm)、DPを変更したい場合、上限値の場合はHiを、下限値の場合はLoをタッチしてください。
  - トレンドグラフの温度、気圧、活動量を変更したい場合、上限値の場合はHiを、下限値の場合はLoをタッチしてください。
  - 「リスト表示」キーをタッチすると、「トレンドリスト」画面へ移行します。
  - USBメモリが接続されている場合、「PDF出力」キーが操作可能になります。「トレンドグラフ」画面表示時に、このキーをタッチするとUSBメモリへ、画面設定を反映したトレンドグラフがPDFファイルより出力されます。「リスト」画面表示時はトレンドリストが出力されます。
- ③ 「リターン」キーをタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

## 7.6.5. 平均トレンド

### 平均トレンド

「平均トレンドグラフ」画面：




### 平均トレンドリスト

「平均トレンドリスト」画面：

2018年 11月 14日 14時 49分

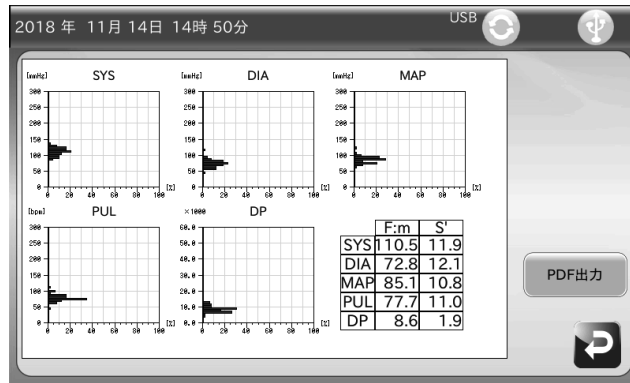
	測定日時	SYS	DIA	MAP	PUL	データ数
1	2018/03/07 16h	101	72	82	72	2
2	2018/03/07 17h	117	76	89	70	2
3	2018/03/07 18h	112	86	95	74	2
4	2018/03/07 19h	118	74	88	78	2
5	2018/03/07 20h	130	95	106	89	2
6	2018/03/07 21h	124	80	95	104	2
7	2018/03/07 22h	119	81	94	86	2
8	2018/03/07 23h	116	73	87	82	2
9	2018/03/08 00h	113	73	86	81	2
10	2018/03/08 01h	100	67	78	74	2

### <操作>


- ① 「平均トレンドグラフ」画面ではSYS、DIA、PUL、MAPの一時間ごとのデータを平均し、それらを平均トレンドグラフとして描画します。
- ② 「平均トレンドリスト」画面では、データ番号・測定日時\_毎時・平均SYS・平均DIA・平均MAP・平均PUL・毎時のデータ数を表示します。
  - 表示項目の各欄のチェックを外すと、グラフからその項目を除外します。
  - 平均トレンドグラフのX軸を変更したい場合はグラフ下部の「時間軸」欄をタッチしてください。
  - 平均トレンドグラフのY軸 (mmHg・bpm) を変更したい場合、上限値の場合は「Hi」を、下限値の場合は「Lo」をタッチしてください。
  - [しきい値表示] を設定します。□枠内をタッチすると「しきい値表示設定」画面に移行して「ハイパーバリック/ハイポバリック/なし」を選択できます。
  - 「リスト表示」キーをタッチすると、「平均トレンドリスト」画面へ移行します。
  - USBメモリが接続されている場合、「PDF出力」キーが操作可能になります。「平均トレンドグラフ」画面表示時に、このキーをタッチするとUSBメモリへ、画面設定を反映した平均トレンドグラフがPDFファイルより出力されます。「平均トレンドリスト」画面表示時は平均トレンドリストが出力されます。
- ③ 「リターン」キー  をタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

## 7.6.6. ヒストグラム

「ヒストグラム」画面：



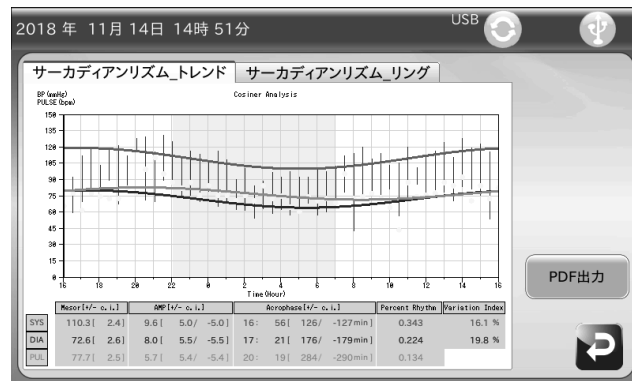
### <操作>

- ① 「ヒストグラム」画面ではSYS、DIA、MAP、PUL、DPの各値の分布を%表記で表示します。
  - SYS、DIA、MAP、PUL、DPの平均値、標準偏差を画面右下に表記します。
  - USBメモリが接続されている場合、「PDF出力」キーが操作可能になります。  
このキーをタッチするとUSBメモリへ、ヒストグラムがPDFファイルより出力されます。
- ② 「リターン」キーをタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。

## 7.6.7. サーカディアン

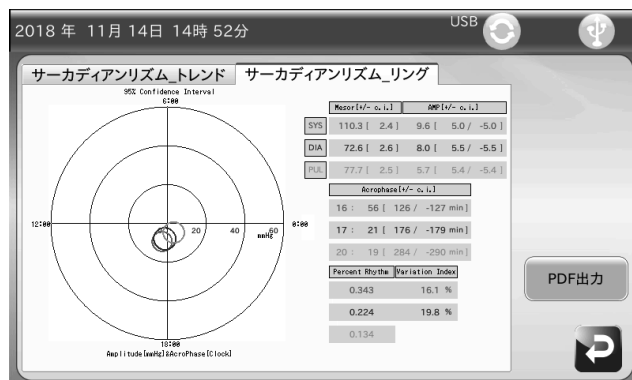
### サーカディアンリズム\_トレンド

「サーカディアンリズム\_トレンド」画面：  
「サーカディアンリズム\_トレンド」タブをタッチすると表示されます。




### サーカディアンリズム\_リング

「サーカディアンリズム\_リング」画面：  
「サーカディアンリズム\_リング」タブをタッチすると表示されます。



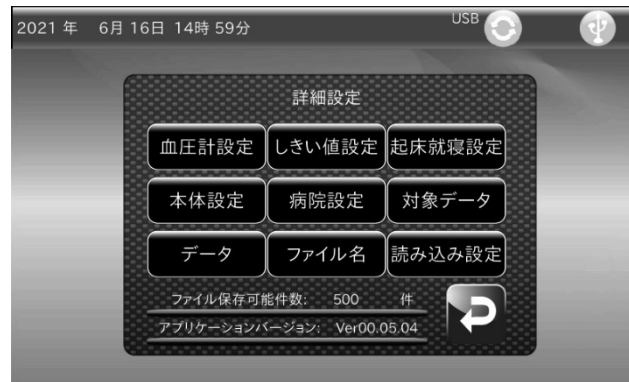
## <操作>

- ① 「サーカディアンリズム\_トレンド」画面ではSYS、DIA、PULの各値のトレンドグラフと、コサインフィッティング法によって求められた最適余弦曲線を描画します。
- ② 「サーカディアンリズム\_リング」画面ではシングルコサイナー法によって求められたメサー、振幅、位相の値とその誤差を用いて円グラフを描画します。
  - SYS、DIA、PULのメサー、振幅、位相とその誤差、Percent Rhythmic、Variation Indexを表示します。
  - USBメモリが接続されている場合、「PDF出力」キーが操作可能になります。このキーをタッチするとUSBメモリへ、サーカディアンリズムがPDFファイルより出力されます。
- ③ 「リターン」キーをタッチすると、「各種解析」画面へ戻ります。  
(サーカディアンの詳細は「11.4. フルレポート」を参照してください。)

## 8. 設定

「ホーム」画面において「設定」アイコンをタッチすると「詳細設定」画面になります。


「詳細設定」画面：



「詳細設定」画面では、血圧データ解析で用いる各種設定値や、本製品の設定値などの登録を行います。登録できる項目は以下のとおりです。

- 血圧計設定 「7.4.1. 血圧計設定」を参照してください。
- しきい値設定
- 起床就寝設定
- 本体設定
- 病院設定
- 対象データ
- データ
- ファイル名
- 読み込み設定

### <操作>

- ① ファイル保存可能件数は、本体メモリに保存できるファイル件数の推定値です。
- ② アプリケーションバージョンは、本製品のバージョン情報を表示します。
- ③ 「リターン」キー  をタッチすると「ホーム」画面へ戻ります。



## 8.1. しきい値設定




「しきい値設定」画面では、解析やグラフ描画時に使用するハイパーバリックしきい値とハイポバリックしきい値を設定します。

「しきい値設定」画面：



「初期化」キー

### <操作>




- ① 各欄をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。（「10.1.数値入力」を参照してください。）設定値の最大値は300（mmHg）です。
- ② 「確定」キー  をタッチすると、変更値は保存されます。登録完了後、「詳細設定」画面へ戻ります。
- ③ 「キャンセル」キー  をタッチすると、変更値は保存されず「詳細設定」画面へ戻ります。
- ④ 「初期化」キーをタッチすると、ポップアップが表示されます。「はい」をタッチすると、設定値が初期設定値へ戻ります。「確定」キー  をタッチして変更値を保存してください。登録完了後、「詳細設定」画面へ戻ります。

## 8.2. 起床就寝設定

「起床就寝設定」画面では、起床時間と就寝時間をあらかじめ設定します。



### <操作>

- ① 各欄をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。（「10.1.数値入力」を参照してください。）
- ② 「確定」キー  をタッチすると、変更値は保存されます。登録完了後、「詳細設定」画面へ戻ります。
- ③ 「キャンセル」キー  をタッチすると、変更値は保存されず「詳細設定」画面へ戻ります。
- ④ 「初期化」キーをタッチすると、ポップアップが表示されます。「はい」をタッチすると、設定値が初期設定値へ戻ります。「確定」キー  をタッチして変更値を保存してください。登録完了後、「詳細設定」画面へ戻ります。

## 8.3. 本体設定

「本体設定」画面では、輝度・音量設定、時間設定を本製品に登録します。

本製品に設定を登録することにより、次回の血圧計への設定時に、同じ内容を送信します。

「本体設定」画面：



### <操作>

- ① 「輝度・音量設定」欄では、スクリーンセーバーの ON/OFF、および起動時間を設定します。また、LCD の輝度設定、ボタン音の ON/OFF (チェックマーク) 設定、音量設定を行います。  
スクリーンセーバーを使用する場合は、文頭にある  枠内をタッチしてください。選択されると、 枠内に  チェックマークが付きます。スクリーンセーバー起動時間を設定する場合は文末の数値が表示された欄をタッチしてください。数値入力ダイアログが表示されます。(「10.1. 数値入力」を参照してください。)  
数値を入力後、「ENT」キーをタッチすると設定した数値の変更が反映されます。
- ② LCD 輝度設定では「Down」キーをタッチするごとに LCD の輝度を下げます。また「Up」キーをタッチするごとに輝度を上げます。
- ③ ボタン音設定ではボタン音の ON/OFF (チェックマーク) を設定します。ボタン音を消す場合は、文頭にある  枠内をタッチしてください。選択されると、 枠内に  チェックマークが付きます。
- ④ 音量設定では、起動音、エラー音の音量を設定します。文頭の白欄をタッチすると、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。任意の音量を選択してください。  
(「10.2. プルダウン選択」を参照してください。)  
また、「確認音」キーをタッチすると変更音量による起動音を確認することができます。
- ⑤ 「時計設定」欄では本製品の日時を設定します。各欄をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。(「10.1. 数値入力」を参照してください。)  
日時を入力後、「ENT」キーをタッチしてください。白欄に数値が入力されます。  
日時を入力後、「確定」キー  をタッチすると、時計設定の変更値が反映されます。
- ⑦ 「リターン」キー  をタッチすると、「詳細設定」画面へ戻ります。「時間設定」欄の「確定」キー  をタッチする前に「リターン」キー  をタッチすると、時計設定の変更は反映されません。



## 8.4. 病院設定

「病院情報設定」画面では、レポートに記載する病院名、住所、電話番号を登録します。

「病院情報設定」画面：



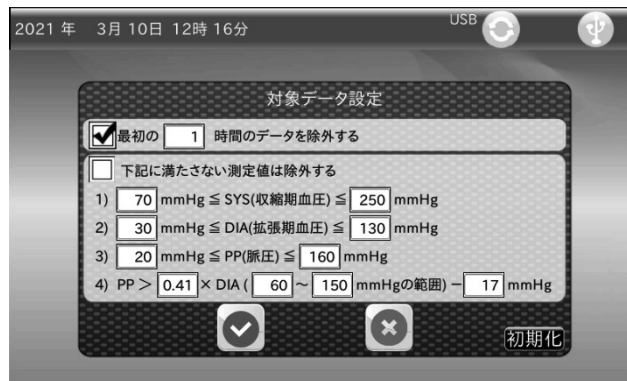
### <操作>

- ① 各項目の白欄をタッチすると「全角かな入力」ダイアログが表示されます。病院情報を入力してください。（「10.5.全角かな入力」を参照してください。）
- ② TEL 欄のみ、「TEL 入力」ダイアログが表示されます。電話番号を入力してください。（「10.6.TEL 入力」を参照してください。）
- ③ 「確定」キー  をタッチすると、変更値が反映されます。
- ④ 「キャンセル」キー  をタッチすると、変更値はクリアされ「詳細設定」画面へ戻ります。

## 8.5. 対象データ

「データ解析区間」設定時に、計算結果の算出からあらかじめ除外しておくデータの範囲を登録します。

「対象データ」画面：



### <操作>

- ① TM-2441-JC の場合、測定開始時からのデータを時間単位で除外するか ON/OFF（チェックマーク）で選択できます。文頭にある  枠内をタッチしてください。選択されると、 枠内に  チェックマークが付きます。  
(TM-2441L-JC16 の場合、データは解析開始時刻以降の最初の自動測定データを基準に除外されます。)  
また、数値入力にて、上記時間単位を変更します。白欄をタッチすると「数値入力」ダイアログが表示されます。除外時間を入力してください。（「10.1.数値入力」を参照してください。）
- ② 異常値対応として、SYS、DIA および、脈圧のしきい値を設定します。各項目の白欄をタッチすると、「数値入力」ダイアログが表示されます。しきい値を入力してください。（「10.1.数値入力」を参照してください。）  
また、異常値対応の設定を ON/OFF（チェックマーク）選択できます。文頭にある  枠内をタッチしてください。選択されると、 枠内に  チェックマークが付きます。
- ③ 「確定」キー  をタッチすると、変更値が反映されます。
- ④ 「キャンセル」キー  をタッチすると、変更値はクリアされ「詳細設定」画面へ戻ります。
- ⑤ 「初期化」キーをタッチすると、ポップアップが表示されます。  
「はい」をタッチすると、設定値が初期設定値へ戻ります。  
「確定」キー  をタッチして変更値を保存してください。

## 8.6. データ

### ⚠ 注意




- データ削除すると、消去されたデータは復帰できません。必要なデータは、必ず事前にパソコンなどにデータ保存を行ってからデータ削除を行ってください。
- USB メモリを専用のフォーマットを行うと、USB メモリに保存されている全てのデータが消去されます。消去されたデータは復帰できませんので、必要なデータは、事前にパソコンなどにデータ保存を行ってからフォーマットを行ってください。
- 環境データの削除、コピーには対応していません。

本体メモリや USB メモリに保存されている血圧データファイルを操作します。また、USB メモリの専用フォーマットを強制的に行います。

「データの管理」画面：



## <操作>

- ① 「CSV 全件削除」欄の「本体」キーを選択すると、本体メモリ内の CSV ファイルを全件削除します。
  - USB メモリが接続されていると、「CSV 全件削除」欄の「USB」キーが操作可能になります。このキーを選択すると、USB メモリ内の CSV ファイルを全件削除します。
- ② 「DAT 全件削除」欄の「本体」キーを選択すると、本体メモリ内の DAT ファイルを全件削除します。
  - USB メモリが接続されていると、「DAT 全件削除」欄の「USB」キーが操作可能になります。このキーを選択すると、USB メモリ内の DAT ファイルを全件削除します。
- ③ 「1 件削除」欄では、メモリ内の CSV ファイルと DAT ファイルを削除します。
  - 「本体」キーを選択すると、本体メモリ内のファイルに対して「ファイル選択」ダイアログが表示されます。削除したいファイルを選択後、「削除」キーをタッチしてください。該当ファイルが削除されます。
  - 「USB」キーを選択すると、USB メモリ内のファイルに対して「ファイル選択」ダイアログが表示されます。削除したいファイルを選択後、「削除」キーをタッチしてください。該当ファイルが削除されます。（「10.3. ファイル選択」を参照してください。）
- ④ 「本体→USB コピー」欄では、本体メモリ内の CSV ファイルと DAT ファイルを USB メモリへコピーします。（USB メモリが接続されていると、「CSV」、「DAT」、「1 件」キーが操作可能になります。）
  - 「CSV」キーを選択すると、本体メモリ内の CSV ファイルを全て USB メモリにコピーします。
  - 「DAT」キーを選択すると、本体メモリ内の DAT ファイルを全て USB メモリにコピーします。
  - 「1 件」キーを選択すると、本体メモリ内のファイルに対して「ファイル選択」ダイアログが表示されます。コピーしたいファイルを選択後、「コピー」キーをタッチしてください。該当ファイルがコピーされます。（「10.3. ファイル選択」を参照してください。）
- ⑤ 「USB→本体コピー」欄では、USB メモリ内のファイルを本体メモリへコピーします。（USB メモリが接続されていると、「1 件」キーが操作可能になります。）
  - 「1 件」キーを選択すると、USB メモリ内のファイルに対して「ファイル選択」ダイアログが表示されます。コピーしたいファイルを選択後、「コピー」キーをタッチしてください。該当ファイルがコピーされます。（「10.3. ファイル選択」を参照してください。）
- ⑥ 「USB フォーマット」欄では接続されている USB メモリの専用フォーマットを強制的に行います。
  - 「実行」キーをタッチすると、確認ポップアップが表示されます。「はい」をタッチしてください。専用フォーマットが開始されます。
  - 「いいえ」をタッチした場合、フォーマットは行われず、「データ管理」画面へ戻ります。
- ⑦ 「リターン」キー  をタッチすると、設定「詳細画面」へ戻ります。

## 8.7. ファイル名

「ファイル名設定」画面では、出力する PDF ファイル名を「通常のレポート形式」と「SZ レポート形式」から選択できます。

「ファイル名設定」画面：



通常のレポート形式： `_yymmddhhmm 被検者 ID_レポート名.pdf`

通常のレポート形式の場合、ファイル名にタイムスタンプの時刻は、1 回目の測定データの日時です。

yy	: 西暦下 2 桁	hh	: 時
mm	: 月	mm	: 分
dd	: 日		

□ SZ レポート形式：被験者 ID~yyyymmddhhmm~ABPM.pdf

SZ レポート形式の場合、ファイル名に付加されるタイムスタンプの時刻は、1 回目の測定データの日時です。

yyyy	: 西暦	hh	: 時
mm	: 月	mm	: 分
dd	: 日		

□ レポート名に用いる定義済みの単語は、以下通りです。

24h	: 24 時間レポート	trend	: トレンドグラフ
simple	: 簡易レポート	trend_list	: トレンドリスト
full	: フルレポート	ave_trend	: 平均トレンドグラフ
summary	: サマリー	ave_trend_list	: 平均トレンドリスト
correlation	: 相関図	histogram	: ヒストグラム
hbi	: HBI	circadian	: サーカディアン

□

### <操作>

- ① 出力するファイル名を SZ レポート形式にする場合には、文頭にある  枠内をタッチしてください。選択されると、 枠内に  チェックマークが付きます。
- ② 「確定」キー  をタッチすると、変更値は保存されます。登録完了後、「詳細設定」画面へ戻ります。
- ③ 「キャンセル」キー  をタッチすると、変更値は保存されず、「詳細設定」画面へ戻ります。

## 8.8. 読み込み設定

「読み込み設定」画面では、血圧計、USBメモリ、本体メモリから読み込むデータの種類を設定できます。

- 「CSV読み込み」を選択すると、「詳細解析」画面で「USBメモリ」または「本体メモリ」を選択した場合、「ファイル選択」画面にCSVファイルが表示されます。
- 「DAT読み込み」を選択すると、「詳細解析」画面で「USBメモリ」または「本体メモリ」を選択した場合、「ファイル選択」画面にDATファイルが表示されます。
- 「環境読み込み」を選択すると、「血圧計」、「USBメモリ」または「本体メモリ」から血圧データを読み込む時に、同時に環境データも読み込みます。

「読み込み設定」画面：



### <操作>

- ① 読み込みたいデータの文頭にある□枠内をタッチしてください。  
選択されると、□枠内に☑チェックマークが付きます。
- ② 「確定」キー☑をタッチすると、変更値は保存されます。登録完了後、「詳細設定」画面へ戻ります。
- ③ 「キャンセル」キー✕をタッチすると、変更値は保存されず、「詳細設定」画面へ戻ります。

## 9. トリセツ

「ホーム」画面において「トリセツ」アイコンをタッチすると、「トリセツ」画面になります。  
「トリセツ」画面には、本製品や各血圧計の取扱説明書等を USB メモリへコピーする機能と、スライドショーにて本製品や血圧計の使用法の説明する機能があります。

「トリセツ」画面：



### 9.1. 取扱説明書ファイルのコピー

取扱説明書のデータは、本製品の本体メモリに保存されています。取扱説明書を閲覧する場合、下記の手順で USB メモリにファイルをコピーして、お手持ちの PC でファイルを開いて閲覧ください。

#### <操作>

- ① USB メモリが接続されていると、「トリセツ」キーが操作可能となります。
- ② 「トリセツ」キーをタッチすると、「ファイル選択」ダイアログが表示されます。
  - TM-2486 取扱説明書 (ファイル名：TM-2486.pdf)
  - TM-244 シリーズ取扱説明書 (ファイル名：TM-244.pdf)
  - 行動記録表 (ファイル名：action\_record\_sheet.pdf)

以上の PDF ファイルを選択できます。ファイルを選択後、「コピー」キーをタッチしてください。  
USB メモリにファイルがコピーされます。（「10.3. ファイル選択」を参照してください。）









## 9.2. スライドショー

用語説明と各種レポートについて説明を行います。

「スライドショー」画面：



### <操作>

- ① プルダウンで項目を選択してください。
- ② 「再生」キー  をタッチするとスライドショーが流れます。  
スライドショー再生中は「一時停止」キー  に変化し、「早送り」キー・「巻き戻し」キー、「停止」キーが操作可能になります。
- ③ 「停止」キー  をタッチすると、スライドショーの再生が終了します。
- ④ 「早送り」キー  をタッチすると、スライドショーが次ページに移動します。  
「巻き戻し」キー  をタッチすると前ページに移動します。
- ⑤ 「リターン」キー  をタッチすると「トリセツ」画面へ戻ります。

## 10. ダイアログ（英数字、全角入力および詳細設定画面）

### 10.1. 数値入力

本製品において数値入力を行う際、「数値入力」ダイアログが表示されます。

「数値入力」ダイアログ：



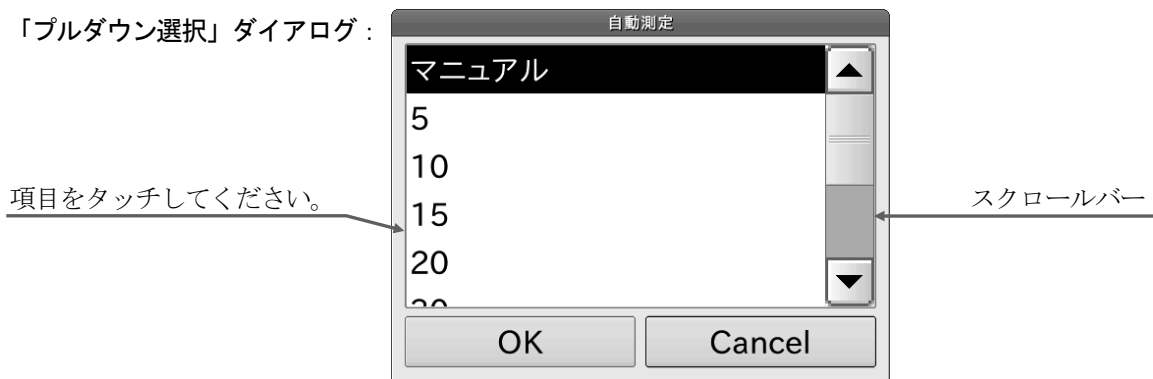
#### <操作>

- ① 「BS」キーをタッチすると、最後の数字が削除されます。
- ② 「CLR」キーをタッチすると、入力されている数値全てが削除されます。
- ③ 「ESC」キーをタッチすると、入力された数値を反映せず、ダイアログから抜け出せます。
- ④ 数値を入力した後、「ENT」キーをタッチしてください。入力した数値が反映されます。

### 10.2. プルダウン選択

本製品において項目選択を行う際、「プルダウン選択」ダイアログが表示されます。

「プルダウン選択」ダイアログ：



#### <操作>

- ① 項目を選択した後、「OK」キーをタッチしてください。選択した項目が反映されます。

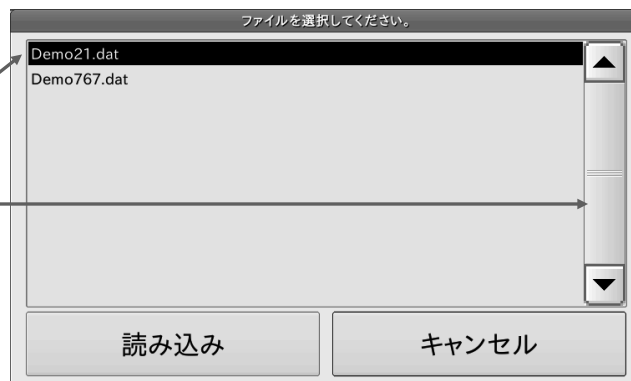
## 10.3. ファイル選択

本製品においてファイル選択を行う際、「ファイル選択」ダイアログが表示されます。

「ファイル選択」ダイアログ：

ファイルをタッチしてください。

スクロールバー



### <操作>

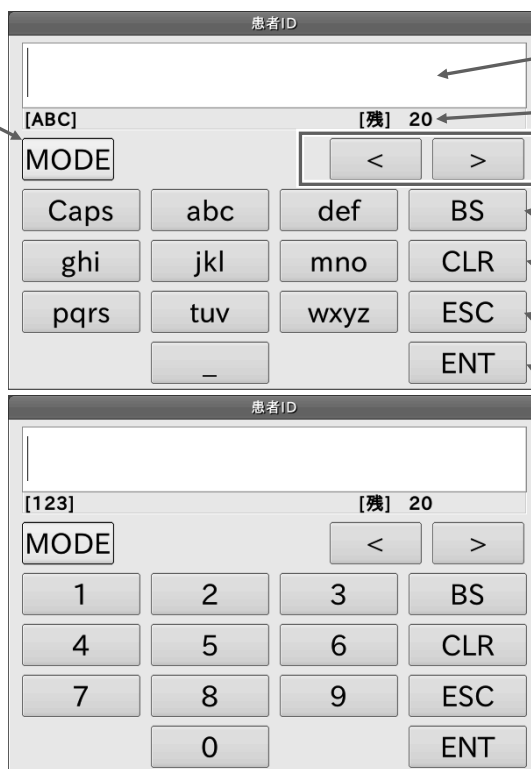
- ① ファイルを選択した後、「読み込み」キーをタッチしてください。選択したファイルが読み込まれます。

## 10.4. 英数入力

「被験者情報登録」画面や「レポート出力」画面において、被験者 ID やファイル名を入力する際、「英数入力」ダイアログが表示されます。

「英数入力」ダイアログ：

「MODE」キー



ディスプレイ

入力文字可能残数

「文字送り」キー

「BS」キー

「CLR」キー

「ESC」キー

「ENT」キー

### <操作>

- ① 「MODE」キーをタッチすることでダイアログを変更します。
- ② 「BS」キーをタッチすると、カーソル直前の英数字が削除されます。
- ③ 「CLR」キーをタッチすると、入力されている英数字全てが削除されます。
- ④ 「ESC」キーをタッチすると、入力された英数字を反映せず、ダイアログから抜け出せます。
- ⑤ 入力後、「ENT」キーをタッチしてください。入力した内容が反映されます。

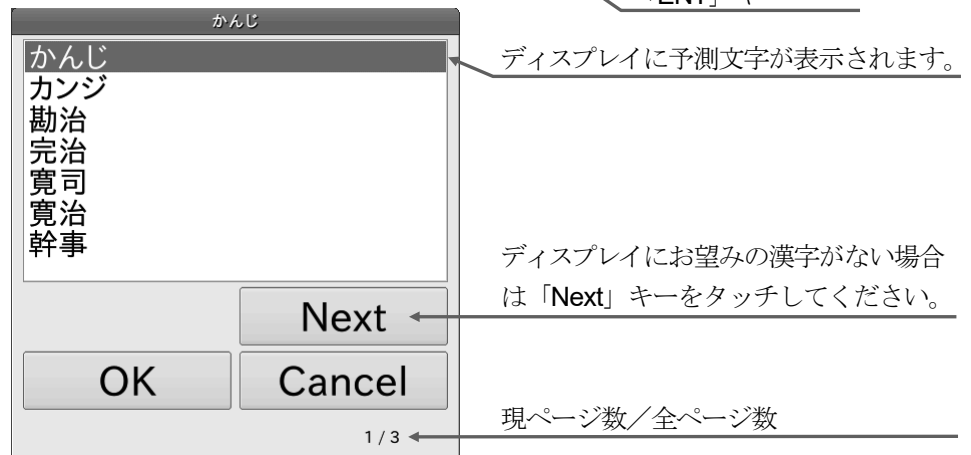
## 10.5. 全角かな入力

「病院情報設定」画面において、病院名や病院住所を入力する際、「全角かな入力」ダイアログが表示されます。

「全角かな」ダイアログ：



「漢字変換」ダイアログ：



「半角カナ」ダイアログ：



「半角英字」ダイアログ：



「半角数字」ダイアログ：



「全角英字」ダイアログ：



## 「全角数字」ダイアログ：

病院名			
エー・アンド・デイ			
[全角 数字]		[残] 11	
MODE	<	>	
1	2	3	BS
4	5	6	CLR
7	8	9	ESC
{[(	0	SP	ENT

### <操作>

- 「MODE」キーをタッチすることでダイアログを変更します。
- [全角 かな] 入力では「変換」キーをタッチすることで、漢字変換することもできます。「漢字変換」ダイアログが表示されます。入力漢字を選択後、「OK」キーをタッチしてください。
- 漢字変換を行わない場合は「確定」キーをタッチしてください。
- 「BS」キーをタッチすると、カーソル直前の文字が削除されます。
- 「CLR」キーをタッチすると、入力されている文字全てが削除されます。
- 「ESC」キーをタッチすると、入力された文字を反映せず、ダイアログから抜け出せます。
- 入力後、「ENT」キーをタッチしてください。入力した内容が反映されます。

## 10.6. TEL入力

「病院情報設定」画面において、電話番号を入力する際、「TEL 入力」ダイアログが表示されます。

「TEL 入力」ダイアログ：

TEL			
048-			
[123]		[残] 26	
<	>		
1	2	3	BS
4	5	6	CLR
7	8	9	ESC
	0	-	ENT

ディスプレイ  
入力文字可能残数  
「文字送り」キー  
「BS」キー  
「CLR」キー  
「ESC」キー  
「ENT」キー

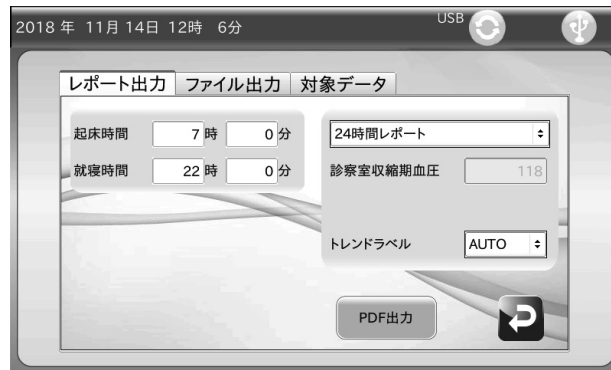
### <操作>

- ① 電話番号入力後、「ENT」キーをタッチしてください。入力した内容が反映されます。

## 11. レポート出力

「データ解析区間」画面において「レポート出力」キーをタッチすると、「レポート出力」画面になります。  
(詳細は「7.3.7. レポート出力」を参照してください。)

「レポート出力」画面：



レポート出力について説明します。

□ 同時刻データの扱い

次のとおり、①、②の順で同時刻に連続して測定した場合

- ① 9:00 測定値 A
- ② 9:00 測定値 B

①②共にグラフおよびリストに記載されます。また、統計処理等の解析対象となります。

□ 時間が戻った場合の処理

次のとおり、時刻設定を戻した場合

- ① 9:00 測定値 A (時刻設定を 8:00 に変更して測定開始)
- ② 8:00 測定値 B
- ③ 8:30 測定値 C
- ④ 9:00 測定値 D

この場合は測定値を時間順にソートして解析対象とします。グラフ・リストへの記載もソート順となります。

# 11.1. 24時間レポート

## <書式>

- ① 24時間レポートは、測定データ・グラフ平均値・サマリーデータ等の基本的な情報が1枚にまとまったレポートです。
- ② 除外したデータにはリスト欄にAE、MEマークがつきます。
- ③ 解析データが60件を超える場合は2ページ以降に出力されます。
- ④ 出力するには解析区間内に2個以上の有効データが必要です。

## 11.1.1. 出力例 24時間レポート

24時間レポートの出力例を下記に示します。

24時間血圧解析結果
2021年03月11日

ID : \_\_\_\_\_ 主治医 \_\_\_\_\_

氏名 : Env Demo 様 \_\_\_\_\_

年齢 : 30 才 \_\_\_\_\_ 性別 : 男性 \_\_\_\_\_

検査日

主治医情報記入欄

トレンドグラフ

**【概況】**

測定期間 2018/03/07 15:00 → 2018/03/08 17:41 26時間41分

有効/全データ 49 / 56 (87.5%)

測定器 TM244

起床/就寝時刻 07:00 / 22:00

**【解析結果】**

対象期間 2018/03/07 16:00 → 2018/03/08 16:00 24時間

有効/全データ 49 / 50 (98.0%)

	最小	平均	最大	SD	CV(%)
SYS[mmHg]	85	110	132	11.87	10.74
DIA[mmHg]	43	73	117	12.14	16.68
PUL[bpm]	44	78	111	11.01	14.16

24時間平均値[mmHg] : SYS/DIA ↓ 110/ 73 ↓

昼間血圧平均値[mmHg] : SYS/DIA ↓ 115/ 76 ↓

夜間血圧平均値[mmHg] : SYS/DIA ↓ 102/ 67 ↓

昼間・夜間行動分離, 起床・就寝時刻に合わせる。

24時間血圧計の使用 (ABPM) 基準に関するガイドライン

	収縮期血圧	拡張期血圧
24時間	130	80
昼間	135	85
夜間	120	70

所見

聴診法 (SYS/DIA) : /

SYS (収縮期血圧), DIA (拡張期血圧), PP (脈圧), PUL (脈拍), IHB (不規則脈波), MA (手動測定), Temp (温度), Aton (気圧), N/A (無効データ)

No.	DATE	TIME	SYS	DIA	PP	PUL	IHB	MA	Temp	Aton	N/A
			mmHg	mmHg	mmHg	bpm			[°C]	[hPa]	
1	3/07	15:00	118	79	40	75			28	1030	ME
2	3/07	15:30	116	79	37	75			28	1030	ME
3	3/07	16:00	109	84	25	68			28	1030	
4	3/07	16:30	93	60	33	79			28	1030	
5	3/07	17:00	113	70	43	62			28	1030	
6	3/07	17:30	121	81	40	79			28	1031	
7	3/07	18:00	104	82	22	75			28	1031	
8	3/07	18:30	120	90	30	73			28	1031	
9	3/07	19:00	122	69	54	73			28	1031	
10	3/07	19:30	113	79	34	83			30	1032	
11	3/07	20:00	129	117	12	79			28	1031	
12	3/07	20:30	130	72	58	100			28	1031	
13	3/07	21:00	-	-	-	-			-	-	
14	3/07	21:02	116	70	46	111			28	1031	E10
15	3/07	21:30	132	80	42	96			25	1030	
16	3/07	22:00	126	86	40	88			26	1030	
17	3/07	22:30	112	76	36	83			26	1030	
18	3/07	23:00	117	76	41	89			26	1029	
19	3/07	23:30	114	70	44	76			27	1029	
20	3/08	0:00	109	80	28	85			28	1029	
21	3/08	0:30	117	69	51	76			28	1029	
22	3/08	1:00	109	71	39	76			29	1029	
23	3/08	1:30	91	63	29	71			30	1028	
24	3/08	2:00	101	62	59	76			32	1029	
25	3/08	2:30	95	58	30	71			32	1027	
26	3/08	3:00	89	64	25	85			33	1027	
27	3/08	3:30	97	59	39	73			34	1027	
28	3/08	4:00	93	63	30	75			34	1027	
29	3/08	4:30	99	50	40	65			34	1026	
30	3/08	5:00	93	66	27	61			35	1026	
31	3/08	5:30	93	69	24	75			35	1026	
32	3/08	6:00	100	58	42	71			35	1026	
33	3/08	6:30	99	61	37	73			35	1025	
34	3/08	7:00	103	73	30	69			36	1026	
35	3/08	7:30	112	79	34	96			34	1026	
36	3/08	8:00	115	43	72	73			30	1026	
37	3/08	8:30	121	75	46	75			29	1026	
38	3/08	9:00	110	77	33	78			28	1026	
39	3/08	9:30	115	77	39	73			28	1026	
40	3/08	10:00	104	82	22	65			28	1025	
41	3/08	10:30	106	57	49	44			28	1024	
42	3/08	11:00	121	74	47	99			27	1025	
43	3/08	11:30	102	96	16	75			28	1022	
44	3/08	12:00	113	76	37	76			28	1022	
45	3/08	12:30	117	81	36	79			20	1020	
46	3/08	13:00	125	79	46	98			21	1019	
47	3/08	13:30	111	71	40	85			25	1019	
48	3/08	14:00	129	84	45	93			27	1018	
49	3/08	14:30	120	82	38	71			28	1017	
50	3/08	15:00	124	76	49	85			29	1016	
51	3/08	15:30	116	54	62	73			28	1015	
52	3/08	16:00	105	73	32	83			29	1015	
53	3/08	17:11	116	71	45	63			26	1013	AE
54	3/08	17:41	117	63	51	75			26	1013	AE
55	3/08	17:39	116	83	83	78			26	1013	AE
56	3/08	17:41	112	74	38	73			26	1013	AE

所見・聴診法(測定前血圧)記入欄

アプリケーションバージョン情報

## 11.2. 24時間レポート拡大版

### <書式>

- ① 24時間レポート拡大版は、24時間レポートの文字を大きく、見やすくしたレポートです。
- ② 除外したデータ欄にAE、MEマークがつきます。
- ③ 解析データは2ページ以降に出力されます。
- ④ 出力するには解析区間に2個以上の有効データが必要です。

### 11.2.1. 出力例 24時間レポート拡大版

24時間レポート拡大版の出力例を下記に示します。





ID : \_\_\_\_\_ 主治医  
 氏名 : Env Demo 様  
 年齢 : 30 才 性別 : 男性

No.	DATE	TIME	SYS [mmHg]	DIA [mmHg]	PP [bpm]	PUL [bpm]	IHB	MA	Temp [°C]	Atom [hPa]	N/A
1	3/07	15:00	118	78	40	75			28	1030	ME
2	3/07	15:30	116	79	37	75			28	1030	ME
3	3/07	16:00	109	84	25	66			28	1030	
4	3/07	16:30	93	60	33	78			28	1030	
5	3/07	17:00	113	70	43	62			28	1030	
6	3/07	17:30	121	81	40	78			28	1031	
7	3/07	18:00	104	82	22	75			28	1031	
8	3/07	18:30	120	90	30	73			28	1031	
9	3/07	19:00	122	68	54	73			28	1031	
10	3/07	19:30	113	79	34	83			30	1032	
11	3/07	20:00	129	117	12	78			28	1031	
12	3/07	20:30	130	72	58	100			28	1031	
13	3/07	21:00	---	---	---	---			---	---	E10
14	3/07	21:02	116	70	46	111			28	1031	
15	3/07	21:30	132	90	42	96			25	1030	
16	3/07	22:00	126	86	40	88			26	1030	
17	3/07	22:30	112	76	36	83			26	1030	
18	3/07	23:00	117	76	41	88			26	1029	
19	3/07	23:30	114	70	44	76			27	1029	
20	3/08	0:00	108	80	28	85			28	1029	
21	3/08	0:30	117	66	51	76			28	1029	
22	3/08	1:00	109	71	38	76			29	1029	
23	3/08	1:30	91	63	28	71			30	1028	
24	3/08	2:00	101	62	39	76			32	1028	
25	3/08	2:30	85	55	30	71			33	1027	
26	3/08	3:00	89	64	25	85			33	1027	
27	3/08	3:30	97	59	38	73			34	1027	
28	3/08	4:00	93	63	30	75			34	1027	
29	3/08	4:30	98	58	40	65			34	1026	
30	3/08	5:00	93	66	27	61			35	1026	
31	3/08	5:30	93	69	24	75			35	1026	
32	3/08	6:00	100	58	42	71			35	1026	
33	3/08	6:30	98	61	37	73			35	1025	
34	3/08	7:00	103	73	30	69			36	1026	
35	3/08	7:30	113	79	34	96			34	1026	
36	3/08	8:00	115	43	72	73			30	1026	
37	3/08	8:30	121	75	46	75			29	1026	
38	3/08	9:00	110	77	33	78			28	1026	
39	3/08	9:30	115	77	38	73			28	1025	
40	3/08	10:00	104	82	22	65			28	1025	
41	3/08	10:30	106	57	49	44			28	1024	
42	3/08	11:00	121	74	47	88			27	1023	
43	3/08	11:30	102	86	16	75			28	1022	
44	3/08	12:00	113	76	37	76			28	1022	
45	3/08	12:30	117	81	36	78			20	1020	
46	3/08	13:00	125	79	46	88			21	1019	
47	3/08	13:30	111	71	40	85			25	1019	
48	3/08	14:00	129	84	45	93			27	1018	
49	3/08	14:30	120	82	38	71			28	1017	
50	3/08	15:00	124	76	48	85			29	1016	
51	3/08	15:30	116	54	62	73			29	1015	
52	3/08	16:00	105	73	32	83			29	1015	
53	3/08	17:11	116	71	45	63			26	1013	AE
54	3/08	17:13	117	66	51	75			26	1013	AE
55	3/08	17:39	116	83	33	75			26	1013	AE
56	3/08	17:41	112	74	38	73			26	1013	AE

### 全測定データリスト

測定番号、測定日、測定時間、最高血圧値、最低血圧値、脈圧、脈拍数、IHB  
 (\*）、  
 マニュアル測定(M)、温度、気圧、自動除外(AE)、手動除外(ME)、エラー番号(\*Exx)を表示。

SYS(収縮期血圧), DIA(拡張期血圧), PP(脈圧), PUL(脈拍), IHB(不規則脈波), 2/2  
 MA(手動測定), Temp(温度), Atom(気圧), N/A(無効データ)

A&D Doctor Pro Touch Ver00.05.04

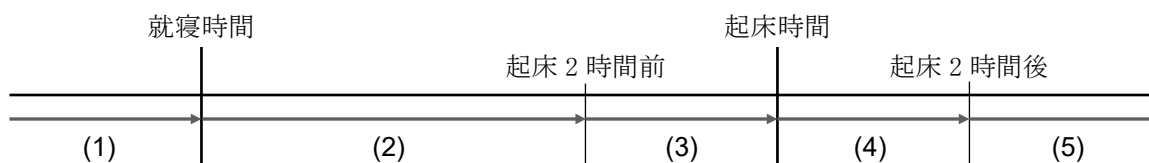
## 11.3. 簡易レポート

### <書式>

- ① 簡易レポートは、測定データの解析結果を A4 版レポート 1 枚にまとめたレポート形式です。  
フルレポートの簡易版ではありません。
- ② 簡易レポートは主に早朝血圧をチェックするためのレポート形式です。
- ③ 出力するには解析区間に 2 個以上の有効データが必要です。  
ただし、この 2 個のデータは各々起床時以降、就寝時中のデータである必要があります。
- ④ 簡易レポート内のグラフや表を全て表示させるには③のデータも含め、最低 6 個のデータが必要です。

以下に必要なデータの詳細を列挙します。

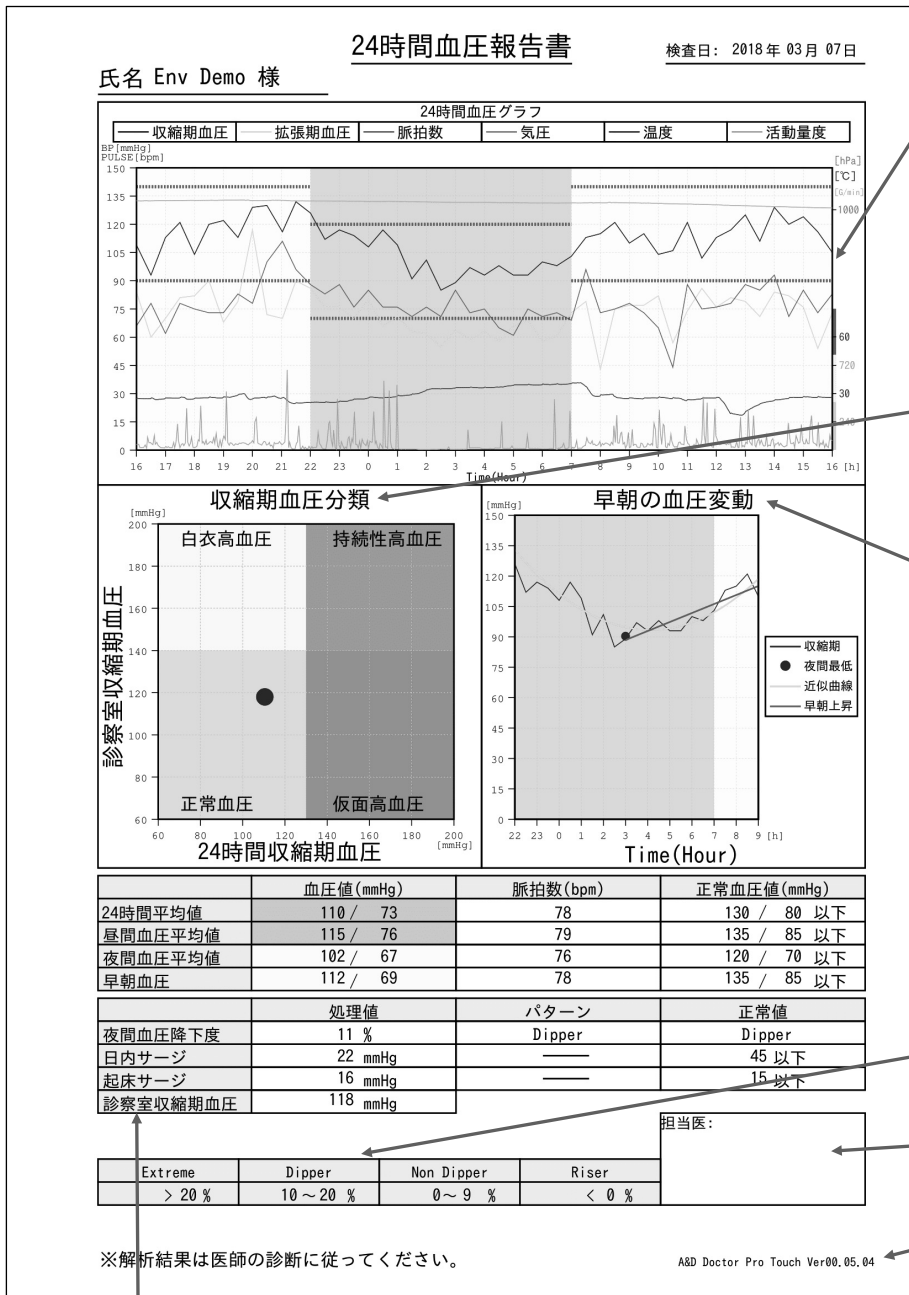
- (1) 夜間血圧降下度算出のため、起床時間から就寝時間までの間にデータが 1 個以上必要
- (2) 夜間最低点算出のため、就寝時間から起床 2 時間前までの間にデータが 1 個以上必要
- (3) 起床サージ算出のため、起床 2 時間前から起床時間までの間にデータが 1 個以上必要
- (4) 早朝血圧算出のため、起床時間から起床 2 時間後までの間にデータが 2 個以上必要
- (5) 早朝血圧検索のため、起床 2 時間後以降にデータが 1 個以上必要



	開始	終了	最低個数	算出項目
(1)	起床時間(含む)	就寝時間	1	夜間血圧降下度
(2)	就寝時間(含む)	起床 2 時間前	1	夜間最低点
(3)	起床 2 時間前(含む)	起床時間	1	起床サージ
(4)	起床時間(含む)	起床 2 時間後(含む)	2	早朝血圧
(5)	起床 2 時間後(含む)	就寝時間	1	早朝血圧

# 11.3.1. 出力例 簡易レポート

簡易レポートの出力例を下記に示します。



## トレンドグラフ

解析区間内の最高血圧値、最低血圧値、脈拍数と、算出した平均血圧値および温度、気圧、活動量をトレンドグラフとして表示。また、ハイパーバリックしきい値も併記。

## 収縮期血圧分類

診察室収縮期血圧と 24 時間収縮期血圧の平均値との比較。

## 早朝の血圧分類

就寝時間開始から起床時間 2 時間後までの最高血圧値のトレンドグラフと近似曲線。

夜間最低：  
3 点の移動平均値の最低点

早朝上昇：  
夜間最低点から起床時間 2 時間後までのデータ群の近似直線

夜間血圧降下度の範囲

主治医情報記入欄

アプリケーションバージョン情報

## 解析結果

解析区間内のデータを元に算出した計算値を表示

- 24 時間平均値 ..... 解析区間内のデータの平均値
- 昼間血圧平均値 ..... 起床時間中の平均値
- 夜間血圧平均値 ..... 就寝時間中の平均値
- 早朝血圧 ..... 起床から起床 2 時間後までのデータ群の平均値
- 夜間血圧降下度 .....  $100 - (\text{就寝時血圧} + \text{起床時血圧} \times 100)$
- 日内サージ ..... 夜間最低点における血圧値と早朝血圧との差
- 起床サージ ..... 起床 2 時間前から起床までのデータ群の平均値と早朝血圧との差
- 診察室収縮期血圧 ..... 「レポート出力」画面における入力値 (未入力時は測定 1 回目の最高血圧値)

## 11.4. フルレポート

### <書式>

- ① フルレポートは、全ての測定データリストと、解析区間内のデータを用いたグラフ表示結果を出力するレポート形式です。
- ② 出力するには解析区間内に2個以上の有効データが必要です。ただし、この2個のデータは別時刻のデータである必要があります。

### 11.4.1. 出力例 フルレポート

フルレポートの出力例を下記に示します。

The screenshot shows a report titled "フルレポート" (Full Report) with the following structure:

- Header: "フルレポート" and "2021/03/11 09:27" (checked by "検査日時" callout).
- Section: "被検者情報" (Patient Information) containing:
  - 被検者ID : (checked by "被検者情報・登録病院情報" callout)
  - 名前 : Env Demo 様
  - 住所 :
  - 電話 :
  - SOC. SEC. :
  - MEDICARE :
  - 保険 :
  - 年齢 : 30 才 性別 : 男性 身長 : 体重 :
  - MEDICATIONS :
  - コメント :
- Section: "登録病院情報" (Registered Hospital Information) containing:
  - 名前 :
  - 住所 :
  - 電話 :
- Footer: "- 1/11 -" and "ASD Doctor Pro Touch Ver#00.05.04" (checked by "アプリケーションバージョン情報" callout).

Callouts on the right side of the image:

- 検査日時: Points to the date and time in the header.
- 被検者情報・登録病院情報: Points to the patient information section, with a note: "本体にて登録されている情報を表示。" (Display information registered in the main body).
- アプリケーションバージョン情報: Points to the version number in the footer.

Patient ID :  
 Patient Name : Env Demo 様 2021/03/11 09:27

SUMMARY

部分区間解析

区間範囲 24h 2018/03/07 16:00 -> 2018/03/08 16:00  
 有効データ数 49  
 無効データ数 1 2.0%

	最小値	平均値	最大値	SD	SE	CV%
最高血圧[mmHg]	85	110	132	11.87	1.70	10.74
最低血圧[mmHg]	43	73	117	12.14	1.73	16.68
平均血圧[mmHg]	65	85	121	10.81	1.54	12.70
脈拍[BPM]	44	78	111	11.01	1.57	14.16

SYS/DIALしきい値 起床時 140 / 90 [mmHg]  
 睡眠時 120 / 70 [mmHg]

最高血圧 > 2.0 %  
 最低血圧 > 12.2 %

最高血圧最大値 132 mmHg at 2018/03/07 21:30  
 最高血圧最小値 85 mmHg at 2018/03/08 02:30  
 最低血圧最大値 117 mmHg at 2018/03/07 20:00  
 最低血圧最小値 43 mmHg at 2018/03/08 08:00

- 2/11 -

ABD Doctor Pro Touch Ver00.05.04

Patient ID :  
 Patient Name : Env Demo 様 2021/03/11 09:27

SUMMARY

起床区間

区間範囲 07:00 -> 22:00  
 有効データ数 31  
 無効データ数 1 3.1%

	最小値	平均値	最大値	SD	SE	CV%
最高血圧[mmHg]	93	115	132	9.33	1.68	8.10
最低血圧[mmHg]	43	76	117	12.75	2.29	16.73
平均血圧[mmHg]	67	89	121	10.05	1.80	11.30
脈拍[BPM]	44	79	111	12.63	2.27	16.04

SYS/DIALしきい値 起床時 140 / 90 [mmHg]

最高血圧 > 0.0 %  
 最低血圧 > 3.2 %

最高血圧最大値 132 mmHg at 2018/03/07 21:30  
 最高血圧最小値 93 mmHg at 2018/03/07 16:30  
 最低血圧最大値 117 mmHg at 2018/03/07 20:00  
 最低血圧最小値 43 mmHg at 2018/03/08 08:00

- 3/11 -

ABD Doctor Pro Touch Ver00.05.04

Patient ID :  
 Patient Name : Env Demo 様 2021/03/11 09:27

SUMMARY

就寝区間

区間範囲 22:00 -> 07:00  
 有効データ数 18  
 無効データ数 0 0.0%

	最小値	平均値	最大値	SD	SE	CV%
最高血圧[mmHg]	85	102	126	11.47	2.70	11.22
最低血圧[mmHg]	55	67	86	8.38	1.98	12.54
平均血圧[mmHg]	65	78	99	8.78	2.07	11.20
脈拍[BPM]	61	76	88	7.44	1.75	9.78

SYS/DIALしきい値 睡眠時 120 / 70 [mmHg]

最高血圧 > 5.6 %  
 最低血圧 > 27.8 %

最高血圧最大値 126 mmHg at 2018/03/07 22:00  
 最高血圧最小値 85 mmHg at 2018/03/08 02:30  
 最低血圧最大値 86 mmHg at 2018/03/07 22:00  
 最低血圧最小値 55 mmHg at 2018/03/08 02:30

- 4/11 -

ABD Doctor Pro Touch Ver00.05.04

## サマリーデータ

解析区間データ、解析区間内の起床時間帯のみのデータ、就寝時間帯のみのデータを元に算出されたサマリーデータ。

SD : 標準偏差値

SE : 標準誤差値

CV% : 変動係数値

Patient ID :  
Patient Name : Env Demo 様 2021/03/11 09:27

ALL BP DATA

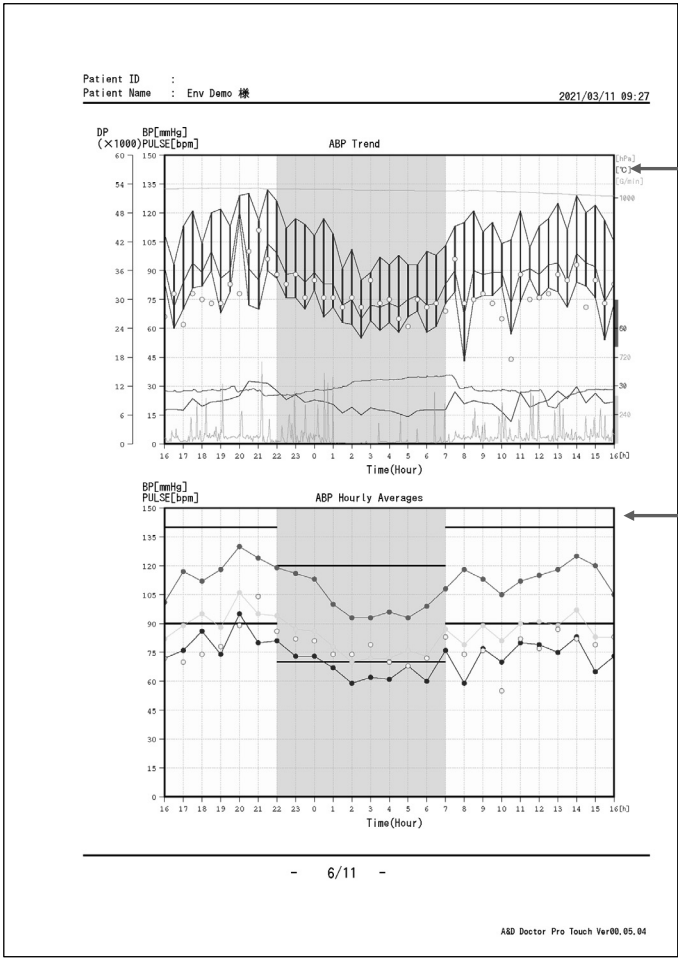
No.	DATE	TIME	SYS DIA	PP	PUL IHB MA	Temp	Atom	N/A
			mmHg	mmHg	[bpm]	[°C]	[Pa]	
1	3/07	15:00	118	78	40	75		28 1030 ME
2	3/07	15:30	116	79	37	75		28 1030 ME
3	3/07	16:00	109	64	25	66		28 1030
4	3/07	16:30	93	60	33	78		28 1030
5	3/07	17:00	113	70	43	62		28 1030
6	3/07	17:30	121	81	40	78		28 1031
7	3/07	18:00	104	82	22	75		28 1031
8	3/07	18:30	120	90	30	73		28 1031
9	3/07	19:00	122	68	54	73		28 1031
10	3/07	19:30	113	79	34	83		30 1032
11	3/07	20:00	129	117	12	78		28 1031
12	3/07	20:30	130	72	58	100		28 1031
13	3/07	21:00	---	---	---	---		E10
14	3/07	21:02	116	70	46	111		28 1031
15	3/07	21:30	132	90	42	96		25 1030
16	3/07	22:00	126	86	40	88		28 1030
17	3/07	22:30	112	76	36	83		28 1030
18	3/07	23:00	117	76	41	88		26 1029
19	3/07	23:30	114	70	44	76		27 1029
20	3/08	0:00	105	80	28	85		28 1029
21	3/08	0:30	117	66	51	76		28 1029
22	3/08	1:00	109	71	38	76		29 1029
23	3/08	1:30	91	63	28	71		30 1028
24	3/08	2:00	101	62	39	76		32 1028
25	3/08	2:30	85	55	30	71		33 1027
26	3/08	3:00	89	64	25	85		33 1027
27	3/08	3:30	97	59	38	73		34 1027
28	3/08	4:00	93	63	30	75		34 1027
29	3/08	4:30	96	58	40	65		34 1026
30	3/08	5:00	93	66	27	61		35 1026
31	3/08	5:30	93	69	24	75		35 1026
32	3/08	6:00	100	58	42	71		35 1026
33	3/08	6:30	98	61	37	73		35 1025
34	3/08	7:00	103	73	30	69		36 1026
35	3/08	7:30	113	79	34	96		34 1026
36	3/08	8:00	115	43	72	73		30 1026
37	3/08	8:30	121	75	46	75		29 1026
38	3/08	9:00	110	77	33	78		28 1026
39	3/08	9:30	115	77	38	73		28 1025
40	3/08	10:00	104	82	22	65		28 1025
41	3/08	10:30	106	57	49	44		28 1024
42	3/08	11:00	121	74	47	88		27 1023
43	3/08	11:30	102	86	16	75		28 1022
44	3/08	12:00	113	76	37	76		28 1022
45	3/08	12:30	117	81	36	78		20 1020
46	3/08	13:00	125	79	46	88		21 1019
47	3/08	13:30	111	71	40	85		25 1019
48	3/08	14:00	123	64	45	93		27 1018
49	3/08	14:30	120	82	38	71		28 1017
50	3/08	15:00	124	76	48	85		29 1016
51	3/08	15:30	116	54	62	73		29 1015
52	3/08	16:00	105	73	32	83		29 1015
53	3/08	17:11	116	71	45	63		26 1013 AE
54	3/08	17:13	117	66	51	75		26 1013 AE
55	3/08	17:39	116	83	33	75		26 1013 AE
56	3/08	17:41	112	74	38	73		26 1013 AE

- 5/11 -

ABD Doctor Pro Touch Ver00.05.04

### 全測定データリスト

測定番号、測定日、測定時間、最高血圧値、最低血圧値、脈圧、脈拍数、IHB (\*)、マニュアル測定(M)、温度、気圧、自動除外(AE)、手動除外 (ME)、エラー番号(\*Exx)を表示。



### トレンドグラフ

解析区間内のデータと、算出された値を時系列順に並べて表示。  
表示項目は最高血圧値、平均血圧値、最低血圧値(線形表示、同時間帯データは結線)、脈拍数(散布図表示)、ダブルプロダクト、温度、気圧、活動量(線形表示)。

### 平均トレンドグラフ

解析区間内のデータを1時間ごとに平均し、データ群をトレンドグラフ表示表示項目は最高血圧値、平均血圧値、最低血圧値(線形表示)、脈拍数(散布図表示)。また、ハイパーバリックしきい値を併記。

Patient ID :  
 Patient Name : Env Demo 様 2021/03/11 09:27

BP DATA

No.	DATE	TIME	SYS	DIA	PP	PUL	IHB	MA	Temp	Atom
			mmHg	mmHg	mmHg	1/min			[°C]	[kPa]
1	3/07	16:00	105	84	25	65			28	1030
2	3/07	16:30	93	60	33	78			28	1030
3	3/07	17:00	113	70	43	62			28	1030
4	3/07	17:30	121	81	40	78			28	1031
5	3/07	18:00	104	82	22	75			28	1031
6	3/07	18:30	120	90	30	73			28	1031
7	3/07	19:00	122	68	54	73			28	1031
8	3/07	19:30	113	79	34	83			30	1032
9	3/07	20:00	129	117	12	78			28	1031
10	3/07	20:30	130	72	56	100			28	1031
11	3/07	21:02	116	70	46	111			28	1031
12	3/07	21:30	132	90	42	96			25	1030
13	3/07	22:00	126	86	40	88			26	1030
14	3/07	22:30	112	76	36	83			26	1030
15	3/07	23:00	117	76	41	88			26	1029
16	3/07	23:30	114	70	44	76			27	1029
17	3/08	0:00	108	80	28	85			28	1029
18	3/08	0:30	117	66	51	76			28	1029
19	3/08	1:00	109	71	38	76			29	1029
20	3/08	1:30	91	63	28	71			30	1028
21	3/08	2:00	101	62	39	76			32	1028
22	3/08	2:30	85	55	30	71			33	1027
23	3/08	3:00	89	64	25	85			33	1027
24	3/08	3:30	97	69	38	73			34	1027
25	3/08	4:00	93	63	30	75			34	1027
26	3/08	4:30	98	58	40	65			34	1026
27	3/08	5:00	93	66	27	61			35	1026
28	3/08	5:30	93	69	24	75			35	1026
29	3/08	6:00	100	58	42	71			35	1026
30	3/08	6:30	98	61	37	73			35	1025
31	3/08	7:00	103	73	30	69			36	1026
32	3/08	7:30	113	79	34	96			34	1026
33	3/08	8:00	115	43	72	73			30	1026
34	3/08	8:30	121	75	46	75			29	1026
35	3/08	9:00	110	77	33	78			28	1026
36	3/08	9:30	115	77	38	73			28	1025
37	3/08	10:00	104	82	22	65			28	1025
38	3/08	10:30	106	57	49	44			28	1024
39	3/08	11:00	121	74	47	88			27	1023
40	3/08	11:30	102	86	16	75			28	1022
41	3/08	12:00	113	76	37	76			28	1022
42	3/08	12:30	117	61	36	78			28	1020
43	3/08	13:00	125	79	46	88			21	1019
44	3/08	13:30	111	71	40	85			25	1019
45	3/08	14:00	129	84	45	93			27	1018
46	3/08	14:30	120	82	38	71			28	1017
47	3/08	15:00	124	76	48	85			29	1016
48	3/08	15:30	116	54	62	73			29	1015
49	3/08	16:00	105	73	32	83			29	1015

### 解析区間データリスト

解析区間内のデータと、算出された計算値を表示。  
 表示項目は測定番号、測定日、測定時間、最高血圧値、最低血圧値、平均血圧値、脈拍数、ダブルプロダクト、マニュアル測定(M)、IHB(I)、温度、気圧。

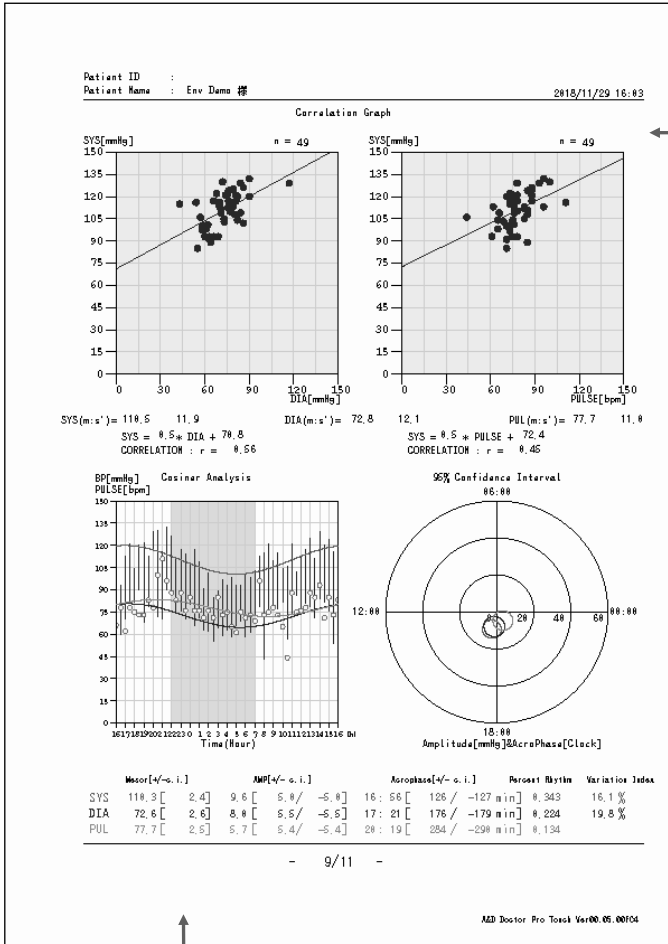
Patient ID :  
 Patient Name : Env Demo 様 2021/03/11 09:27

AVERAGE BP DATA

No.	DATE	TIME	SYS	DIA	MAP	PUL	COUNT
1	2018/03/07	16h	101	72	82	72	2
2	2018/03/07	17h	117	76	89	70	2
3	2018/03/07	18h	112	86	95	74	2
4	2018/03/07	19h	118	74	88	78	2
5	2018/03/07	20h	130	95	106	89	2
6	2018/03/07	21h	124	80	95	104	2
7	2018/03/07	22h	119	81	94	86	2
8	2018/03/07	23h	116	73	87	82	2
9	2018/03/08	00h	113	73	86	91	2
10	2018/03/08	01h	100	67	78	74	2
11	2018/03/08	02h	93	59	70	74	2
12	2018/03/08	03h	93	62	72	79	2
13	2018/03/08	04h	96	61	72	80	2
14	2018/03/08	05h	93	68	76	88	2
15	2018/03/08	06h	99	60	73	72	2
16	2018/03/08	07h	108	76	87	83	2
17	2018/03/08	08h	118	59	79	74	2
18	2018/03/08	09h	113	77	89	76	2
19	2018/03/08	10h	105	70	81	55	2
20	2018/03/08	11h	112	80	90	82	2
21	2018/03/08	12h	115	79	91	77	2
22	2018/03/08	13h	118	75	89	87	2
23	2018/03/08	14h	125	83	97	82	2
24	2018/03/08	15h	120	65	83	79	2
25	2018/03/08	16h	105	73	83	83	1

### 平均トレンドデータリスト

平均トレンドグラフで用いられたデータのリストを表示。  
 表示項目は計算番号、測定日、測定時間、最高血圧値の平均値、最低血圧値の平均値、平均血圧値の平均値、脈拍数の平均値、1時間あたりのデータ数。



## 相関図

解析区間内のデータを用い、最高血圧値と最低血圧値、最高血圧値と脈拍数の相関図と近似直線を表示。

CORRELATION(r) : 相関係数

m : 平均値

S' : 標準偏差

n : データ数

## サーカディアンリズム

24時間コサイナー法による日内リズムを表示。

各振幅値の95%信頼性区間で推定した領域を円で表示し、リズム及びデータの妥当性を確認。

(解析終了時刻から24時間前までの最高血圧値と最低血圧値、脈拍数に対する周期回帰解析と、95%信頼区間内の予測解析)

基本回帰式  $\Rightarrow Y = M + A \times \text{COS}(T)$

基本回帰式に基づき各測定値との誤差が最小になる曲線を求める(最小2乗法)。

M : Mesor(水準) ..... 余弦曲線の中心(基線)

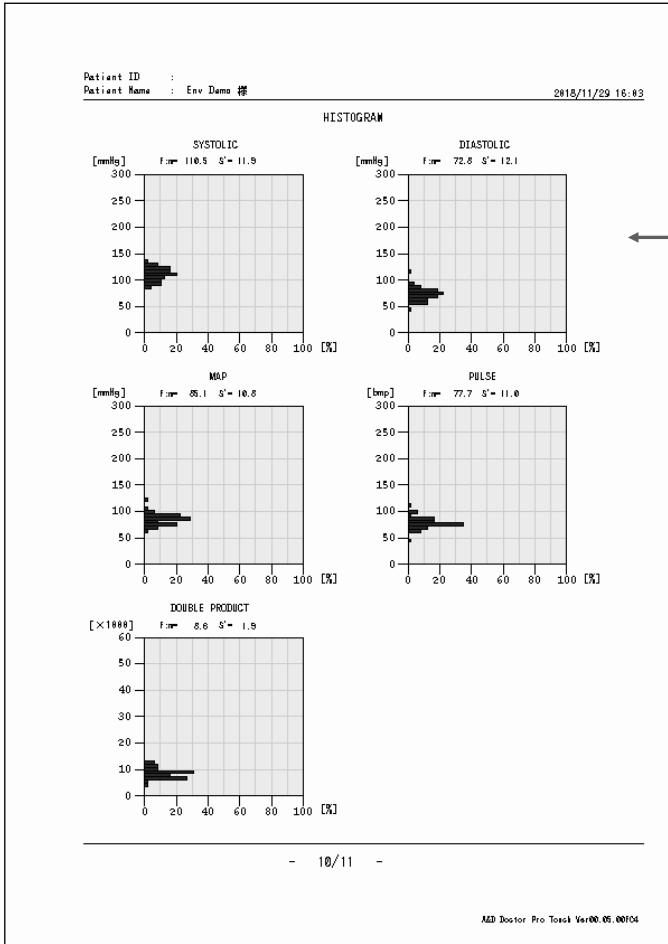
A : AMP(振幅) ..... 最適に当てはめられた余弦曲線の振幅

T : Acrophase(位相) ..... 最適に当てはめられた余弦曲線が最高値を示す位相(時間)

Percent Rhythm : 実測値と予想値の相関

Variation Index(%) : 余弦曲線のP-Pの振幅を評価





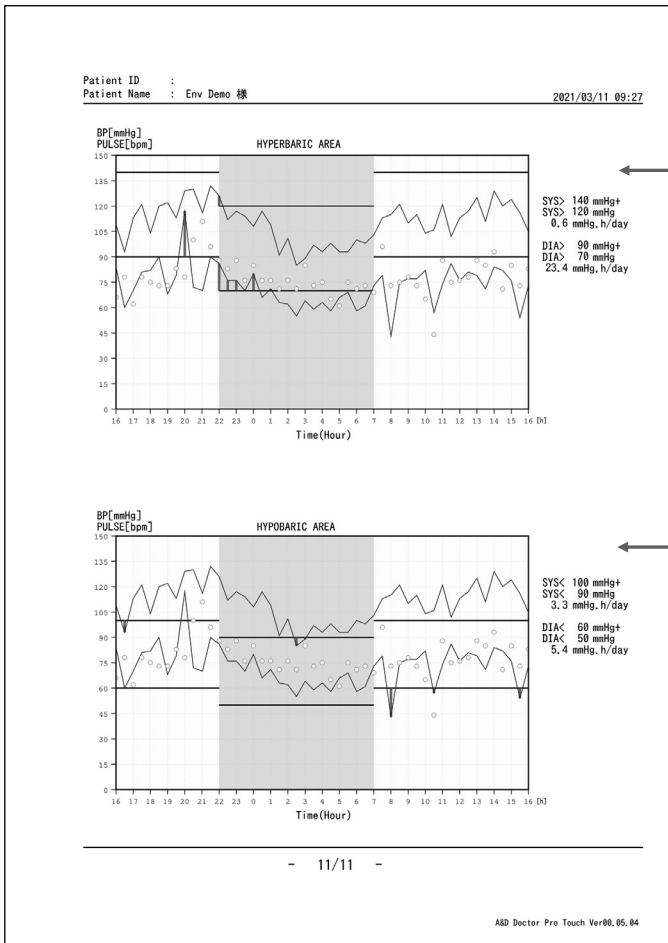
## ヒストグラム

解析区間内のデータを6単位ごとに区分けし、ヒストグラム表示。

表示項目は最高血圧値、平均血圧値、最低血圧値、脈拍数、ダブルプロダクト

F:m .....平均値

S' .....標準偏差



## HBI・ハイパーバリックしきい値グラフ

解析区間内のデータから求められたトレンドグラフとハイポバリックしきい値を比較し、しきい値以上の値を示す領域を表示し、その面積を数値化(mmHg.h/day)。

## HBI・ハイポバリックしきい値グラフ

解析区間内のデータから求められたトレンドグラフとハイポバリックしきい値を比較し、しきい値以下の値を示す領域を表示し、その面積を数値化(mmHg.h/day)。

## 12. 使用後

### 12.1. 電源の切断

操作終了後、スイッチを OFF にする。

### 12.2. ACアダプタの取り外し

- ① AC アダプタをコンセントから抜きます。
- ② AC アダプタプラグを DC ジャックから取り外します。

## 13. 困ったとき Q&A

### 13.1. 電源

**Q1: 電源を入れているのに画面が暗い場合？**

A1-1: 画面を触ると画面が明るくなりませんか？ スクリーンセーバーが設定されています。「8.3. 本体設定」を参照してください。

A1-2: 画面が薄暗く表示されていませんか？ 画面の明るさが「最低」に設定されている可能性があります。LCD 表示輝度で明るさを設定してください。「8.3. 本体設定」を参照してください。

### 13.2. 接続

**Q2: 使用できるプリンタは？**

A2: プリンタは使用できません。

**Q3: LAN でパソコンと接続できますか？**

A3: パソコンとの LAN 接続はできません。

**Q4: 市販の USB メモリは使用できますか？**

A4: 市販の USB メモリは、使用できます。ただし、本体にて USB メモリの専用のフォーマットを行ってください。「7.3.6. 被験者情報」の注意、「8.6. データ」の⑥項を参照してください。

注意： フォーマットを行うと全て消去されます。大切なデータはパソコン等に、あらかじめ保存してください。

### 13.3. ファイルデータ

**Q5: 本体に保存できるデータ件数は？**

A5: 本体に保存できるデータ件数は、約 500 件(目安)です。  
大切なデータは USB 経由でパソコン等に保存し、不要なデータは削除していただくことをお勧めします。「4. 仕様」を参照してください。

**Q6: 保存できるファイル形式(種類)は？**

A6-1: 本体に保存できるファイル形式は、合計 2 種類あります。「4. 仕様」を参照してください。  
CSV ファイルと DAT ファイル



A6-2: USB メモリに保存できるファイル形式は、合計 4 種類あります。  
CSV ファイル、DAT ファイル、環境ファイル、PDF ファイル(各種レポート)

## 14. 保守

### 14.1. 点検と安全管理

本製品の始業前点検などの日常管理は、本製品の性能および安全性、有効性を維持するために保守管理する必要があります。弊社血圧計の保守点検と併せて、本製品の点検をお勧めします。

### 14.2. 清掃

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 清掃を行う際は、必ず電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。</li><li>□ 本製品は、防水仕様ではありません。本製品に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。</li><li>□ 本製品の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。</li><li>□ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。 本製品の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヶ月に1回程度、以下のように行ってください。</li></ul>

#### 液晶画面

柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい場合は、柔らかい布に中性洗剤または消毒用アルコールを少量含ませて液晶部を軽く拭きます。液が垂れないようにしてください。

#### 本体

本製品の外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。



清掃するときは、水にうすめた中性洗剤を使用してください。

血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

### 14.3. 修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、下記のチェック表および、次節のエラーメッセージ表に該当する現象がないかお確かめください。これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、弊社 ME 機器相談センターにお問い合わせください。

現象	確認内容
画面が全く表示しない。	□ 専用 AC アダプタは接続されていますか？
動作しない。	□ エラーメッセージが表示していませんか？ 「14.4.エラーメッセージ表」を確認し、一旦電源を ON/OFF してください。
通信できない。	□ 本製品と血圧計の通信ケーブルは接続していますか？
通信に時間が掛かる	□ 血圧計内に長時間の環境データが保存されていることが考えられます。通信が完了するまでお待ちください。 ※ 環境データ数によっては、通信完了までに最大 20 分間かかる場合がございます。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本製品の分解、および改造はしないでください。 火災・感電の原因になります。</li></ul>

## 14.4. エラーメッセージ表

エラーメッセージ	エラー内容
データの読み込みに失敗しました。 接続を確認してください。	血圧計、ファイルのデータの読み込みに失敗しました。
データの書き込みに失敗しました。	CSV、DATファイルの書き込みに失敗しました。
表示するデータ数が足りません。	データ数が1点以下なので、グラフを表示することができませんでした。
設定内容を確認してください。	測定パターンの設定が不正です。時系列を見直してください。 また、測定間隔が 120 分である場合、次時刻との間隔を 2 の倍数時刻に設定してください。
簡易レポートの印刷に失敗しました。 データの選択条件を取扱説明書にて確認してください。	簡易レポートの計算に失敗しました。血圧データを見直してください。
フルレポートの印刷に失敗しました。 XXXのデータの選択条件を取扱説明書にて確認してください。	フルレポートの計算に失敗しました。 →XXXには、平均リストやサーカディアン等、 計算が失敗したデータ名が入ります。
本体メモリの容量が残り少なくなりました。 保存ファイルを整理してください。	本体メモリの容量が残り 1%を切りました。 保存ファイルを整理して、容量を確保してください。
USBメモリの容量が残り少なくなりました。 保存ファイルを整理してください。	USBメモリの容量が残り1%を切りました。 保存ファイルを整理して、容量を確保してください。
USBメモリにファイルを書き込めません。 保存ファイルを整理してください。	USBメモリの容量の空きがありません。 保存ファイルを整理して、容量を確保してください。 また、本体メモリにもファイルを書き込もうとしていた場合は、 USBメモリへのチェックマークを外してから、再度ファイル出力キーをタッチしてください。
本体メモリにファイルを書き込めません。 保存ファイルを整理してください。	本体メモリの容量の空きがありません。 保存ファイルを整理して、容量を確保してください。 また、USBメモリにもファイルを書き込もうとしていた場合は、 本体メモリへのチェックマークを外してから、再度ファイル出力キーをタッチしてください。
通信エラーが発生しました (XXX)	血圧計との間に通信エラーが発生しました。接続をやり直してください。 →XXXにはエラー番号が入ります。
データ不足	サーカディアンリズム リングを計算するためのデータが不足しています。

## 14.5. 廃棄



### 注意



□ 本製品を棄却するときは、内蔵バックアップ電池（リチウム電池）を外してください。

本製品の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体内部	筐体	ABS樹脂
	内部部品	一般部品
	シャーシ	鉄
	基板上の内蔵電池（バックアップ）	リチウム電池

## 15. 付属品

品名	詳細	型名
ACアダプタ (TB252A)	長さ 1.83m	AX-TB252
傾斜台	—	1094000833

## 16. オプション

品名	型名
USBフラッシュメモリ ※1	AS-GHUF2G
USBケーブル	AX-KOUSB4C

※1 USBメモリは、専用のフォーマットを行ってから使用してください。  
フォーマット方法は、「8.6. データ」に記載されています。

## 17. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

## 18. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体 ..... ご購入より 12 ヶ月

## 19. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。



- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、および修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載している安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載している電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をした結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

### 19.1. 製品に関するご質問・ご相談窓口

- 弊社 ME 機器相談センターにお申し付けください。

# 付録：指針および製造業者の宣言


本製品は、医用電気機器の安全使用のための EMD (電磁妨害) 規格 IEC 60601-1-2:2014 に適合しています。本製品の使用時は、電磁妨害 (EMD) について特に注意する必要があります。本書に記載されている EMD に関する注意事項に従って操作を行なってください。

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 携帯及び移動形の高周波 (RF) 通信機器 (例えば携帯電話) は、医療用電子機器に影響を与えることがあります。指定以外のケーブルや付属品の使用は装置のエミッションの増加やイミュニティの低下をもたらすことがあります。</li> <li>■ 医用電気機器は以下に示す EMD 情報に従って、設置・提供する必要があります。</li> </ul>

**表 1 RF エミッション (電磁放射)**

エミッション試験	適合性	電磁環境
電磁放射妨害 CISPR11	グループ 1 クラス A	本製品は、内部機能のためだけ RF エネルギーを使用していますが、その RF エミッションは非常に低く、近くの電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は低いです。
電源端子妨害電圧 CISPR11	グループ 1 クラス A	本製品は、住居環境、および居住目的に使用される建物に電力を供給する公共の低電圧用の配電網に直接接続したものを除く全ての施設での使用に適しています。本製品のエミッションの特性は、工業領域及び病院での使用に適しています。住居環境で使用する場合、無線周波数通信サービスに対して適切に保護出来ない可能性があります。
高調波ひずみ IEC61000-3-2 用	非適用	
電圧変動及びフリッカ IEC61000-3-3	非適用	

**表 2 電磁イミュニティ：外装ポート**

現象	試験レベル	電磁環境
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	±8 kV 接触 ±2 kV、±4 kV、±8 kV 及び ±15 kV 気中	床板は、木材、コンクリートまたは、陶性タイルであることが望ましいです。床板が合成物質で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも 30% であることが望ましいです。
電源周波数磁界 IEC 61000-4-8	30 A/m	電源周波数に於ける磁界は、一般的な商用または、病院環境の一般的な使用場所における周波数レベルであることが望ましいです。
放射 RF 電磁界 IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 80% 振幅変調 (1 kHz)	携帯形および移動形 RF 通信機器は、ケーブルを含む本機器のどの部分に対しても、送信機の周波数に適用される式から計算された推奨分離距離より離れた所で使用することが望ましいです。  推奨分離距離 $d=1.2\sqrt{P}$ 80MHz~800MHz $d=2.3\sqrt{P}$ 800MHz~2.7GHz
RF 無線通信機器からの近接電磁界 IEC 61000-4-3	表 6 参照	<b>P</b> は、送信機製造業者が指定した送信機の最大出力定格で、単位はワット (W) です。固定の RF 送信機からの電磁界強度は、電磁気の現地調査 <b>a</b> によって決定されますが、これは各周波数範囲 <b>b</b> において適合レベル未満であることが望ましいです。 下記の記号でマークされた機器の  近くでは、妨害が発生する恐れがあります。

備考1	80MH および 800MHz においては、より高い周波数範囲を適用します。
備考2	これらの指針は、全ての状況にあてはまるとは限りません。電磁気の伝搬は、構造、物体および人体による吸収や反射によって影響されます。
a:	固定送信機、例えば無線（携帯／コードレス）電話基地局および陸上移動無線、アマチュア無線、AM および FM ラジオ放送並びに TV 放送からの電磁界強度は、理論上、正確には予想できません。固定された RF 送信機に起因する電磁環境を評価するために、電磁気の現地調査の実施を検討することが望ましいです。本製品が使用される場所の測定電磁界強度が、適用される RF 適合性上記のレベルを超過する場合、本製品が正常動作するか検証することが望ましいです。性能に異常が見つかった場合は、追加の手段、例えば、本製品の向きまたは、配置場所を変えるなど対処が必要になります。
b:	周波数範囲 150kHz～80MHz では、電磁界強度は、3V/m 未満であることが望ましいです。

**表 3 携帯形および移動形の RF 通信機器からの推奨分離距離**

本製品は、放射 RF 妨害が制御される電磁環境内での使用が意図されています。顧客または、本製品の使用者は携帯形および移動形の RF 通信機器（送信機）を、その機器の最大出力電力に応じて以下に示す最低隔離距離だけ、本機器から離して使用することにより、電磁干渉の防止を支援できます。			
送信機の定格最大出力 (W)	送信機の周波数による分離距離 (m)		
	150kHz～80MHz 推奨分離距離 $d=1.2\sqrt{P}$	80MHz～800MHz 推奨分離距離 $d=1.2\sqrt{P}$	800MHz～2.7GHz 推奨分離距離 $d=2.3\sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23
上記に列記されていない最大出力定格の送信機の推奨分離距離 <b>d</b> は、送信機の周波数に適用される式を使用してメートル(m)単位で決定します。 <b>P</b> は、送信機製造業者が指定した送信機の最大出力定格で、単位はワット(W)。推奨分離距離 <b>d</b> の単位はメートル(m)。			
備考1	80MH および 800MHz においては、より高い周波数範囲を適用します。		
備考2	これらの指針は、全ての状況にあてはまるとは限りません。電磁気の伝搬は、構造、物体および人体による吸収や反射によって影響されます。		

**表 4 電磁イミュニティ：交流入力電源ポート**

現象	試験レベル	電磁環境
電氣的ファースト トランジェント／バースト IEC 61000-4-4	±2 kV 繰り返し周波数：100 kHz	電源電力品質は、典型的な商用または、病院環境のものであることが望ましいです。
サージ ラインーライン間 IEC61000-4-5	±0.5 kV 及び ±1 kV	
RF 電磁界によって誘発する伝導妨害 IEC 61000-4-6	0.15 MHz ～ 80 MHz の間で 3 V 0.15 MHz ～ 80 MHz の間の ISM 帯域で 6 V 80 %振幅変調 (1 kHz)	無線通信機器は、本製品に対して推奨分離距離よりも近づけて使用しないことが望まれます。
電力供給ラインに於ける電圧ディップ、短時間停電及び、電圧変動 IEC 61000-4-11	0% $U_T$ 0.5 周期 位相角 0°、45°、90°、135°、180°、225°、270°及び 315° 0% $U_T$ 1 周期 及び 70% $U_T$ 25 /30 周期 単相 位相角 0°	電源電力品質は、典型的な商用または、病院環境のものであることが望ましいです。本製品の使用者が、停電時の連続操作を要求した場合、本製品の電源は、無停電電源装置または、電池を使用することが推奨されます。
短時間停電 IEC 61000-4-11	0% $U_T$ 250 /300 周期	

備考： $U_T$ は試験レベルの電圧印加前の交流電源電圧である。



表 5 電磁イミュニティ：信号入出力ポート

現象		試験レベル
静電気放電 (ESD)	IEC 61000-4-2	±8 kV 接触 ±2 kV、±4 kV、±8 kV 及び ±15 kV 気中
電氣的ファースト トランジェント/バースト	IEC 61000-4-4	±1 kV 繰り返し周波数：100 kHz
RF 電磁界によって誘発する 伝導妨害	IEC 61000-4-6	0.15 MHz ~ 80 MHz の間で 3 V 0.15 MHz ~ 80 MHz の間の ISM 帯域で 6 V 80 % 振幅変調 (1 kHz)

表 6 RF 無線通信機器に対する外装ポートイミュニティ試験仕様

試験周波数 (MHz)	帯域 (MHz)	通信サービス	変調	最大電力 (W)	イミュニティ 試験レベル (V/m)
385	380 ~ 390	TETRA 400	パルス変調 18 Hz	1.8	27
450	430 ~ 470	GMRS 460 FRS 460	周波数変調 ±5 kHz 偏移 1 kHz 正弦波	2	28
710	704 ~ 787	LTE Band 13, 17	パルス変調 217 Hz	0.2	9
745					
780					
810	800 ~ 960	GSM 800/900 TETRA 800 CDMA 850 LTE Band 5	パルス変調 18 Hz	2	28
870					
930					
1720	1700 ~ 1990	GSM 1800 CDMA 1900 GSM 1900 DECT LTE Band 1, 3, 4, 25 UMTS	パルス変調 217 Hz	2	28
1845					
1970					
2450	2400 ~ 2570	Bluetooth® WLAN 802.11 b/g/n RFID 2450 LTE Band 7	パルス変調 217 Hz	2	28
5240	5100 ~ 5800	WLAN 802.11 a/n	パルス変調 217 Hz	0.2	9
5500					
5785					





## メディカル機器に関するご質問・ご相談窓口

故障、別売品・消耗品に関してのご質問・ご相談も、この電話で承ります。  
修理のご依頼、別売品・消耗品のお求めは、お買い求め先へご相談ください。

## ME 機器相談センター

電話 **0120-707-188**

通話料無料

受付時間:9:00~12:00、13:00~17:00、月曜日~金曜日（祝日、弊社休業日を除く）  
都合によりお休みをいただいたり、受付時間を変更させて頂くことがありますのでご了承ください。

## 修理品の発送先

株式会社エー・アンド・デイ FE部

〒507-0054 岐阜県 多治見市 宝町9-19

TEL. 0572-21-6644

**AND** 株式会社 **エー・アンド・デイ**

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14  
ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

製造販売業者 株式会社エー・アンド・デイ

〒364-8585 埼玉県北本市朝日1-243

※ 電話のかけまちがいにご注意ください。番号をよく  
お確かめの上、おかけくださるようお願いいたします。